



Fukushima University
GRAND DESIGN
2040

2025

福島大学 大学概要

FUKUSHIMA UNIVERSITY OVERVIEW AND STATISTICS



変化の時代に、進化で挑む。

Fukushima Dynamism



目次 Contents

- | | |
|--|--|
| 1… 学長メッセージ
Message from the President | 23… 卒業生数及び修了生数
Number of Graduates |
| 2… 福島大学グランドデザイン 2040
Fukushima University Grand Design 2040 | 25… 卒業生就職状況
Employment After Graduation |
| 3… 福島大学ニュース
Fukushima University News | 26… 外国人留学生数
Number of International Students |
| 5… 沿革略
Chronology | 奨学生
Scholarship Students |
| 7… 歴代学長
List of Former and Current Presidents | 27… 収入・支出決算額
Closing Accounts : Revenue and Expenditure |
| 8… 組織機構図
Organization Structure | 28… 科学研究費助成事業
Grants-in-Aid for Scientific Research |
| 運営組織図
Governing Structure | 外部資金
Funds from Other Sources |
| 9… 学長表彰
President's Award | 29… 学内施設等
Campus Facilities |
| 11… 学群・学類・研究科・学系
Educational and Research Systems | 34… サテライト等
Satellite etc. |
| 学術刊行物
Academic Publications | 35… 土地・建物面積
Properties |
| 17… 役職員
Administrators | 36… 建物配置図
Campus Map |
| 経営協議会委員
Management Council | 38… 部局等の所在地案内図
Location of Offices |
| 18… 教育研究評議会評議員
Education and Research Council | 39… 部局等の所在地及び電話番号
Contact Addresses |
| 役職員数
Number of Executives, Faculty and Staff | 40… 福島大学基金
Fukushima University Fund |
| 19… 国際交流
International Exchange | |
| 21… 入学志願者及び入学者
Number of Applicants and Enrolled Students | |
| 学生の定員及び現員
Number of Students | |
| 22… 附属学校の定員及び現員
Off-Campus K-12 Schools | |

福島大学公式マスコットキャラクター 「めばえちゃん」



福島県阿武隈高地の深い森に棲んでいた木の妖精。

2011(平成23)年3月のある日、双葉郡から福島市へ移動する車の列に付いて、知らず知らずのうちに福島大学にたどり着いていました。うつくしまふくしま未来支援センターに住み着き活動を見ているうちに、福島県の人々、特に子ども達を力づけるため活動したいと決意し、2013(平成25)年3月11日、センター長から47人目のセンター員として辞令を受けました。

その後、うつくしまふくしま未来支援センターのみならず、福島大学の取り組みを幅広く地域社会に広報するなどの活躍が認められ、2017(平成29)年4月に「福島大学公式マスコットキャラクター」として任命されました。

- ・年 齢：4歳
- ・性 別：女の子
- ・誕生日：4月7日
- ・出身地：福島県阿武隈高地
- ・お仕事：福島っ子の応援、福島県産品の PR
福島県の復旧・復興のお手伝い
福島大学の PR



変化の時代に、進化で挑む。 Fukushima Dynamism

学長 三浦 浩喜

President MIURA Hiroki



福島大学では、2024年9月に「福島大学グランドデザイン2040」を策定し「変化の時代に、進化で挑む。Fukushima Dynamism」をキャッチコピーとして掲げています。14年前の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の発災以来、本学は一貫して被災者への支援活動を行ってきました。一連の取り組みで、問題を解決する方法と答えは現実社会の中にあるということ、新しい問題に対して用意されている答えは用をなさず、時間をかけて新しい答え、つまり「新しいやり方」を創り出さなければならないということを学びました。VUCA（予測不能で、不確実で、複雑で、曖昧）の時代を切り拓くには、対症療法ではなく、創造的に課題を解決する新機軸が必要です。福島大学では教育と研究、地域貢献を一体化させ、現代社会で求められている「イノベーションの担い手」を育てたいと考えております。

本学では2024年4月に「共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所」を開設いたしました。研究所では、「水素・再生可能エネルギーの地産地消ふくしまモデル」を創り出すため、学問分野を横断した研究が着々と進んでおります。地元自治体や他大学との連携も強固であり、エネルギー災害を経験した福島だからこそその視点から水素関連産業の構築、人材の育成を行ってまいります。また、同学類では今年度より「高度情報専門人材の確保」に向けた取り組みを開始いたしました。情報理工学分野の体制を更に強化させ、地方自治体や企業のDX化を強力に推進できる人材を輩出いたします。

教育分野では、2025年4月より農学分野の博士課程である岩手大学大学院連合農学研究科に参画いたしました。岩手大学・弘前大学・山形大学とともに、グローバルな視点を持った次世代の高度専門職業人を養成します。

福島大学では、「福島大学グランドデザイン2040」のもと、2027年に学士課程改革を行う予定です。改革を通じ、これまでの3学群5学類制を4学部制へと改組するとともに、高等教育のエコシステム構築を実現してまいります。文部科学省の推計では、2040年の国内の高等教育機関の定員充足率は約7割まで低下すると言われており、18歳人口が急減期に差し掛かっている今はまさに改革のラストチャンスです。「正解のない問い」にチャレンジできる人材を育成すべく、新しい教育組織や研究組織、地域連携の形を探究し、地方国立大学の新しいあり方を追求してまいります。

今後とも、引き続き本学へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

現代社会は「VUCA」（予測不能、不確実、複雑、曖昧）と呼ばれ、気候変動や大規模災害の頻発、急激な人口減少・少子高齢化、そして昨今の物価高など、多様な問題が生じています。一方で、AI技術の発展やDX・GXを活用した生産性向上は希望の光であり、技術革新をけん引し社会問題を解決・緩和できる人材の育成が大学に強く求められています。

本学は、創立以来6万6000人もの優秀な人材を世に送り出し、75年以上の長きにわたって地域を支える役割を果たしてきました。また、東日本大震災や東京電力福島第一原

子力発電所事故以降は、創意を凝らした復興支援プロジェクトがいくつも生まれ、その先端的な取り組みが、国内外から高く評価されています。

急激な社会の変化に直面する中で、10年後、20年後の地域の将来像を描き、大学への期待に応えるため、2040年までに取り組むべき目標を「福島大学グランドデザイン2040」として策定しました。私たち福島大学は、変化に対応できる「強い大学」を築くために今後も努力してまいります。



2段階改革 段階的に改革を実施し、「時代にあった」福島大学を創ります。

[2027改革] 人文社会系、附属学校園の再編と理・工・農機能強化 ▶▶▶▶▶ [2031改革] 全学的研究機能の強化(予定)

- 人間発達文化学類を「教育学部(仮称)」に転換し、人材育成に特化
- 行政政策学類と経済経営学類を統合し、「政経学部(仮称)」を新設。人材育成理念を統一し、社会実装の課題に対応
- 附属小学校と附属中学校を統合し、「附属義務教育学校(仮称)」に
- 学生・教員数の重点化および研究分野の絞り込みによる理工農機能の強化
- 協働的研究指導体制を実現する大学院の改革
- 外部研究資金獲得のポテンシャル向上
- 産学官連携の強化

※本冊子に記載の学士課程改革の構想は、今後、文部科学省等関係者と調整の上、2026年度に文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。
なお、構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

福島大学は学士課程改革を行います

概要：「福島大学グランドデザイン2040」をもとに、令和9年度より学士課程を現行の3学群・5学類から4学部・3学科1課程に再編します。



定例記者会見(令和7年4月9日)にて発表しました



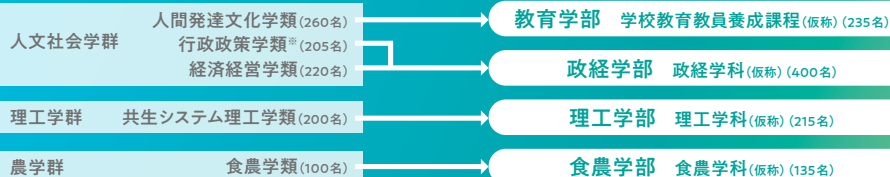
「正解のない問い」に挑む、これからの学びへー 学士課程再編

新しい福島大学で身につけてもらいたい力

- ①「専門性と社会への応用力」 ②「課題の自分事化と解決への意欲」 ③「分野を超える知識と新たな発見」
④「協働する力と遂行する力」 ⑤「積極的な働きかけと倫理」



令和9(2027)年度 3学群5学類から 4学部に変わります。



※夜間主は廃止されます。

学部名や開設時期はいずれも予定であり、変更が生じる可能性があります。

“先生”になるだけじゃない
“学び”を創る人になる。

新しい社会づくりの担い手
地域に根ざしたイノベーション人材

地域の未来をひらく
「科学と技術」を身につける。

教育学部(仮称)

地域の子どもたちとリアルな関わり、探究する力を持った「学びのリーダー」を育てます。ともに学びを創る力を身につけます。

- 地域課題を掘り起こし教育を通して解決を試みる 地域課題探究コース
- 国際的な視点で日本や諸外国の文化や生活を考える グローバル探究コース
- 数学や理科、技術、アートをつないで課題を解決する STEAM教育コース
- 学校現場での活動を通して教師の資質を身につける 教育臨床コース
- 多様な子どもたちが共に学ぶ教室をつくる インクルーシブ教育コース

理工学部(仮称)

地域のインフラや災害対策、再生可能エネルギーやAI活用、地域の課題の中から技術革新を生み出す「実践型エンジニア」を育てます。

- 理論と実践力のバランスのとれた情報人材を育成する 情報理工学コース
- 物理学などを基盤に技術やシステムの創出を担う人材を育成する メカトロニクスコース
- 水素などの先進的でクリエイティブな化学系人材を育成する 分子デザイン科学コース
- 環境を多面的に捉え、計画・管理する人材を育成する 環境システムコース

- 1 年次には教員免許等に沿った<系>で学びます！
●国語系 ●英語系 ●社会科系 ●算数・数学系
●理科系 ●保健体育系 ●心理系
- 2 以下のような教員免許を取得できます！
●小学校1種または2種(取得必須)
●中学校(国語、英語、社会、数学、理科、保健体育)1種または2種
●特別支援学校1種
●高等学校(国語、英語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、情報)1種
※他学部の講義の受講が必要です。
※その他、公認心理師受験資格など取得可
- 3 2年次より課題別コースに分かれてプロジェクト学習を進めます！

基盤教育
大学で学ぶための基礎力・問題意識
×
専門教育
確かな知識、最先端の技術
×
共創知教育*
分野横断による「+α」の専門性

- 1 入学試験は学部一括で行い、2年次からは4つの専門コースに分かれ深く学びます！
- 2 1年次では、数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工学の基礎を学びます！
- 3 廃炉や除染技術、再生可能エネルギーなどをテーマに多彩なフィールドワークで実践的に学ぶことができます！

「社会実装力」を身につけ、地域や産業の未来を創る。

「土」や「水」から「食卓」・「社会」まで、未来の食と農をひらく。

政経学部(仮称)

ビジネス戦略、公共政策、地域経済、国際問題——身近なニュースの「その先」を深く考え、現場で学ぶフィールドワークを通して、社会にイノベーションをもたらす人材を育成します。

- 地域資源や新技術を活用し新しい価値を創造する 産業・地域社会イノベーションコース
- 地域企業の新陳代謝をけん引し地域経済を再構築する 経済経営コース
- 公的な視点で新しい社会の姿をデザインし伴走する 公共政策デザインコース

- 1 地域の様々な資源を有効に活用して、地域を活性化するための仕組みやサービスを実現できる力を身につけます！
- 2 新しく生み出される技術を多様な形で事業に活用し、企業や地域経済を元気にすることが出来る力を身につけます！
- 3 専門知識をベースに、連携する企業や自治体等をフィールドとして、基礎・応用・実践の3段階で社会実装力を養います！

食農学部(仮称)

持続可能な食のシステム、地域で生産される農作物。食と農を入り口に、よりよい人々の暮らしや社会の仕組みを考えます。

- 食品の栄養や機能を解明し豊かな食と健康を創造する 食品科学コース
- 気候変動に対応した革新的農業生産技術を開発する 農業科学コース
- これからの地域社会と農業の活性化を担う 農業経営学コース
- 農山間環境の保全と利活用を推進する フィールド環境学コース

- 1 農業の現場での実習や、福島県全体をキャンパスにして実践的に学びます！
- 2 分野を横断したチームで、地域の食と農の課題に幅広く取り組みます！
- 3 1年次から「土」や「水」に触れ、農場で栽培実習に取り組みます！

VUCAの時代

予測不能で、不確実で、複雑で、曖昧な社会

*共創知教育 学部・コースの専門領域を越え、「+α」の新たな専門性を身につけ、より実践的で、より現実に根ざした学修を目的とした教育です。協働プロジェクトに発展させることもできます。

研究力を向上させ、地域とともに未来を創る

※本資料に記載の学士課程改革の構想は、今後、文部科学省等関係者と調整の上、2026年度に文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。なお、構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性もあります。

内閣府地方大学・地域産業創生交付金事業 「バイオマス由来水素・炭化物製造システムが導く地方創生」を開始しました

概 要

福島大学共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所では、内閣府地方大学・地域産業創生交付金事業により「バイオマス由来水素・炭化物製造システムが導く地方創生」を開始しました。

本プロジェクトでは、福島大学を中心とする研究機関と、水素関連産業への参入を目指す意欲的な地元企業が連携し、小規模地産地消型のバイオマス由来水素・炭化物製造システムを確立し、県内全域への水素供給を可能とした水素社会の実現を目指します。また、水素エネルギー総合研究所の機能強化を図るとともに、新たな人材育成プログラムを構築し、即戦力となる高度専門人材の育成、スタートアップ企業の創出に取り組みます。

背景・狙い

本事業は、内閣府地方大学・地域産業創生交付金令和6年度第2回公募に採択されたものであり、地域における大学の機能強化と産業振興を一体的に推進することが求められています。このプロジェクトでは、県内に豊富に存在するバイオマス（剪定枝、稲わら等）を活用し、小規模地産地消型の水素・炭化物製造システムの研究開発に取り組み、水素及び付加価値の高い炭化物の安定供給モデルの確立、さらには地域大学の魅力向上と若者の雇用創出を目指します。

●本プロジェクトは定例記者会見（令和7年4月9日）にて発表しました



プロジェクトの取り組み内容

本プロジェクトでは、産総研（FREA）や他大学の研究機関、県内の地元企業と産学官連携の下に、「バイオマス×水素×炭化物」に関する共同研究を行うとともに、水素と炭化物を製造するプラントを需要のある工場近辺に設置し、配送コストを削減した地産地消ビジネスモデルを実現し、福島県全体への水平展開を目指します。

まずは10W級の実験室規模のプラント、次に5～25kW級のパイロットプラント、100kW級（水素60トン／年）の実証・実用化プラントと次第に規模を増大させたプラントを構築し、最適なバイオマス、熱分解炉、反応器、透過膜、水素・炭化物の活用（カーボンニュートラルタイヤ製造等）に係る研究をプラントの規模毎に行い実用化へと繋げます。

また、福島大学水素エネルギー総合研究所については、施設整備、教員の増員、トップレベル研究者の招へい等の機能強化を図るとともに、人材育成では、水素・エネルギー関連コースを新設（令和7年度：学士課程、令和9年度：修士課程）し、高度専門人材の輩出やスタートアップ企業の創出を目指します。

●「バイオマス由来水素・炭化物製造システムの構築」展開のイメージ



福島大学大学院食農科学研究科(修士課程)は岩手大学院連合農学研究科(博士課程)へ参画しました

概 要

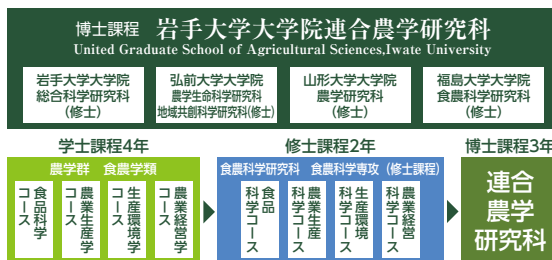
福島大学大学院食農科学研究科(修士課程)は、令和7年4月に岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)へ参画しました。大学院連合農学研究科は、設置大学と複数の大学とで研究科(博士課程)を構成するもので、全国に6つの大学院連合農学研究科(岩手、東京農工、岐阜、鳥取、愛媛、鹿児島)が18の国立大学の構成のもと協働で農学系分野的教育研究を行っています。

岩手大学大学院連合農学研究科はこれまで岩手大学、弘前大学、山形大学で構成されていましたが、令和7年4月に福島大学が参画し、現在4大学で構成されています。福島大学大学院食農科学研究科(修士課程)を修了した学生は、岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)に進学し、籍は岩手大学に置きながら、福島大学など指導教員が在職する構成大学に配置され、3年間の研究指導を受けます。学生1人に3人の教員(主指導教員1人、副指導教員2人)が研究指導に当たります。また、福島大学以外の大学院修士課程を修了した学生や社会人、留学生などが福島大学に所属する教員(主指導教員)の指導を受けたい場合も、岩手大学大学院連合農学研究科に入学(進学)・在籍して指導を受けることができます。

福島大学は、今後、岩手大学大学院連合農学研究科の構成大学として更なる高度な人材を養成し、先端的・学際的な研究を推進していきます。

参画理由

福島大学大学院食農科学研究科(修士課程)設置の趣旨の一つとして、福島県が抱える地域課題の解決を先導できる高度専門職業人の養成があります。岩手大学大学院連合農学研究科に参画することで「東北」としての一体感が強調できます。また、東北の農林水産業を取り囲む課題は、少子高齢化・人口減少、担い手不足、過疎・中山間地の持続的な発展等は共通であり、同じ課題を共有しつつ各構成大学と連携しながらの人材養成や協同した取り組みが期待できます。



福島大学「学生ジャーナリスト」

福島大学では、令和2年に学内の魅力を発信するチーム「学生ジャーナリスト(通称：GJ)」が結成され、現在86名の学生メンバーと職員と一緒に活動しています。放送班、SNS班、写真班、めばえ班、翻訳班の5班で構成され、各班が協力し合いながら、大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」と共に、学内外に向けて「顔の見える大学」として、学生ならではの視点・立場で広報活動を行っています。学内の様々な人・団体を紹介する15分間のラジオ番組「めばえのたね」(通称：めばらジ)、SNSを使ったクイズ企画、福島大学公式YouTubeチャンネルで「めばえちゃん」が様々なことに挑戦する動画企画、Instagramを使った福島大学フォトコンテストなど、幅広い活動を通して福島大学を盛り上げています。



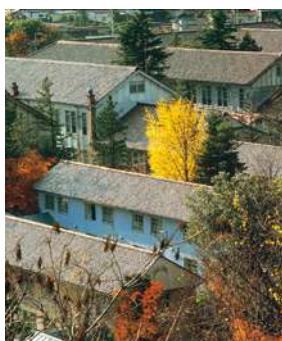
福大祭でのステージ発表

沿革略

Chronology



旧浜田町キャンパス



旧森合キャンパス

1949(昭和24)年5月31日、法律第150号国立学校設置法により、福島師範学校・福島青年師範学校・福島経済専門学校の3校を包括して、学芸学部と経済学部の2学部を持つ福島大学が設置されました。

学芸学部(1966(昭和41)年4月に教育学部と改称)は市内浜田町に、経済学部は市内森合の2つのキャンパスに分散していたため、1979(昭和54)年から1981(昭和56)年にかけて現在の金谷川の地に統合移転しました。1987(昭和62)年10月に行政社会学部を増設し、2004(平成16)年10月、国立大学法人化の中で理工学群共生システム理工学類を創設するに伴い、学部制から学群・学類・学系制へと全学再編しました。

旧3学部を継承した3学類を人文社会学群としてくくり、理工学群とともに2学群4学類の教育組織を実現するとともに、全教員が参加する研究組織として12の学系(2025(令和7)年現在は8学系)を構築しました。また、人文社会学群は、伝統ある社会人教育を継承して、夜間主コース(現代教養コース)を設けました。大学院についても既存3研究科とともに、2008(平成20)年4月には共生システム理工学研究科を発足させました。2010(平成22)年には同研究科に博士後期課程を、2017(平成29)年には人間発達文化研究科に教職実践専攻(教職大学院)を設置しました。

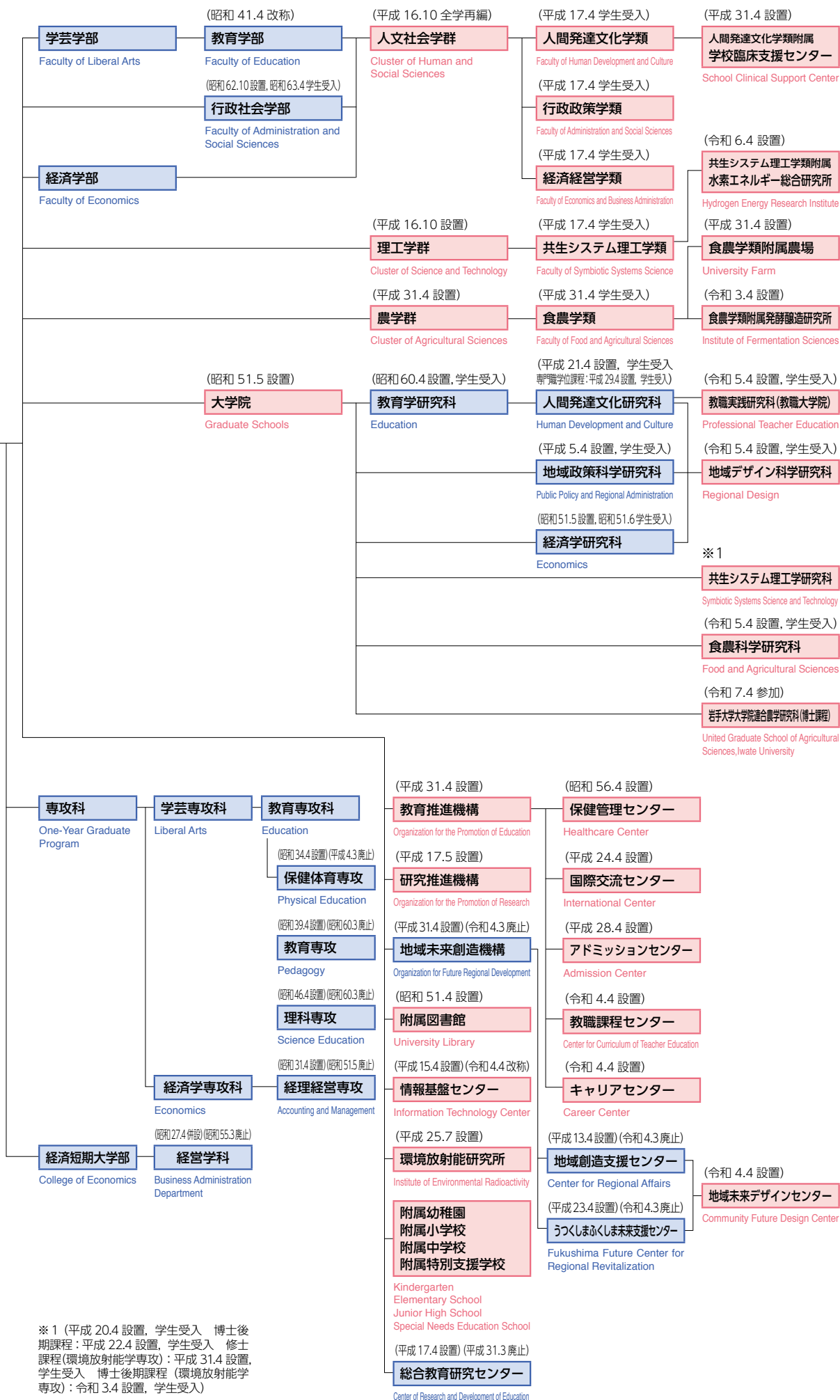
2019(平成31)年4月には、新たに農学群食農学類を開設し、3学群5学類の総合大学として生まれ変わりました。また、現代教養コースを「行政政策学類夜間主」として社会人教育に特化した夜間主コースに再編したほか、大学院共生システム理工学研究科の中に環境放射能学専攻を設置しました。

2023(令和5)年4月には大学院をリニューアルし、福島県の農業再生を加速させる「食農科学研究科」を新設するとともに、教職大学院を「教職実践研究科」として独立させ、人文系・社会系の既存3研究科を「地域デザイン科学研究科」へと統合し、大学院全体の目標を「イノベーション人材の養成」に改めました。

2025年(令和7)年4月には、岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)に構成大学として参加しました。



移転当時の金谷川キャンパス



歴代学長

LIST OF FORMER AND CURRENT PRESIDENTS



西 沢 喜洋芽
NISHIZAWA Kiyome
昭24. 5.31～昭29. 2.17
新制福島大学初代学長
S24.5福島大学設置
S27.4(短)併設経済短期
大学部設置(夜間3年・学
生定員80)



安 田 初 雄
YASUDA Hatsu
(事務取扱)
昭46. 4. 1～昭48. 2.16
S46.11(評)統合推進方針
を最終決定



白 井 嘉 一
USUI Yoshikazu
平14. 2.16～平16. 3.31
平16. 4. 1～平18. 3.31
H16.4国立大学法人福島
大学として学生受入開始
H16.10福島大学全学再
編。3学部から2学群4学
類12学系制度へ移行。人
文社会科学群に夜間主コ
ースを設置



阿 部 久 次
ABE Kyuji
昭29. 2.17～昭32. 2.16
昭32. 2.17～昭35. 2.16
昭35. 2.17～昭37.10.30
S31.4(経)経済学専攻科
設置(経理経営専攻)



渡 辺 源次郎
WATANABE Genjiro
昭51. 2.16～昭54. 2.15
昭54. 2.16～昭56. 2.15
S51.5(院経)大学院・経
済学研究科(経済学専攻)
修士課程新設。経済学部
専攻科廃止
S52.4(育)附属養護学校
設置
S54.4(育)幼稚園教員養
成課程設置



今 野 順 夫
KONNO Toshio
平18. 4. 1～平22. 3.31
H20.4大学院共生システ
ム理工学研究科(修士課
程)設置
H21.4大学院人間発達文
化研究科(修士課程)設置



服 部 英太郎
HATTORI Eitaro
昭37.10.30～昭40.10.29
昭40.10.30～昭40.12.20
S39.4(芸)専攻科に教育
専攻設置(学生定員5)
S40.4(経)経営学科拡充
改組・学生定員40増



伊 藤 巳喜夫
ITO Mikio
昭56. 2.16～昭59. 2.15
S56.4保健管理センター
設置。(育)教育実践研究
指導センター設置



入野 修
NITTONO Osamu
平22. 4. 1～平26. 3.31
H22.4大学院共生システ
ム理工学研究科(博士課
程)設置
H23.4つくしまふくしま
未来支援センター設置
H24.4国際交流センター
設置
H25.7環境放射能研究所
設置



平 井 博
HIRAI Hiroshi
(事務取扱)
昭40.12.20～昭41. 2.18
S40.12服部英太郎学長急
逝のため、平井博学芸学
部学長が学長事務取扱に就
任



山 田 舜
YAMADA Akira
昭59. 2.16～昭62. 2.15
昭62. 2.16～平成元. 2.15
S60.4(院育)教育学研究
科修士課程新設
S61.4(院経)経営学専攻
設置(社会人受入)
S62.10(行)行政社会学部
(行政学科学生定員160・
応用社会学科学生定員
80)設置



中 井 勝 己
NAKAI Katsumi
平26. 4. 1～平30. 3.31
平30. 4. 1～平32. 3.31
H28.4アドミッション
センター設置
H29.4教職大学院(人間発
達文化研究科教職実践専
攻)設置
H31.4福島大学全学再編。
農学群食農学類設置。
大学院共生システム理工
学研究科環境放射能専攻
(修士課程)設置



海 後 勝 雄
KAIGO Katsuo
昭41. 2.18～昭43.10.15
S41.4(芸)教育学部に名
称を変更。(育)特別教科
(理科)教員養成課程設置
(学生定員30)。(育)附属
幼稚園設置
S42.4(育)附属小学校に
特殊学級設置



篠 筈 憲 爾
SASAKI Kenji
平成元. 2.16～平4. 2.15
H1.4(行)(経)福島大学地
域研究センター発足
H3.4(経)16講座を5大講
座に再編成



三 浦 浩 喜
MIURA Hiroki
令2. 4. 1～令6. 3.31
令6. 4. 1～令8. 3.31
R2.4学系を13学系から
8学系に再編
R3.4食農学類附属農産
醸造研究所設置
R4.4地域未来デザインセ
ンター・教職課程センター
・キャリアセンター設置
R5.4福島大学大学院再
編。地域デザイン科学研
究科(修士課程)設置。教
職実践研究科(専門職学
位課程)設置。食農科学
研究科(修士課程)設置
R6.4共生システム理工学
類附属水素エネルギー総
合研究所設置



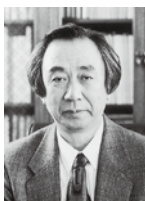
玉 山 勇
TAMAYAMA Isamu
(事務取扱)
昭43.10.15～昭44.12. 4
昭48. 2.16～昭51. 2.15
S44.4(育)附属中学校に
特殊学級設置。福島大学
計算センター設置
S48.3(文)に移転統合計
画書を提出



星 埜 惇
HOSHINO Atsushi
平4. 2.16～平7. 2.15
H5.4(院行)地域政策科学
研究科設置



野 村 正 次
NOMURA Masaji
(事務取扱)
昭44.12. 4～昭46. 3.31
S45.7統合に関するマス
タープラン作成委員会設
置



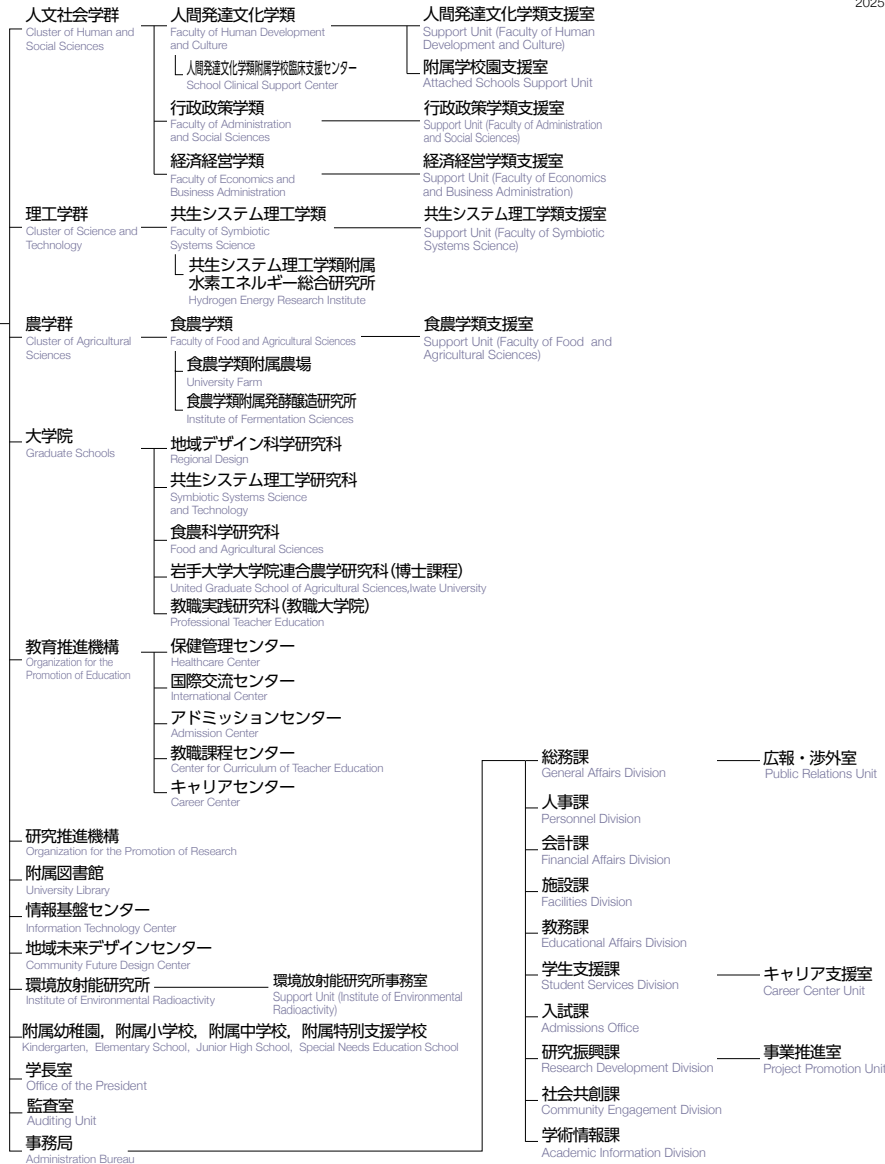
吉 原 泰 助
YOSHIHARA Taisuke
平7. 2.16～平10. 2.15
平10. 2.16～平12. 2.15
平12. 2.16～平14. 2.15
H7.4生涯学習教育研究セ
ンター設置
H13.4地域創造支援セン
ター設置

組織機構図

ORGANIZATION STRUCTURE

2025. 5. 1

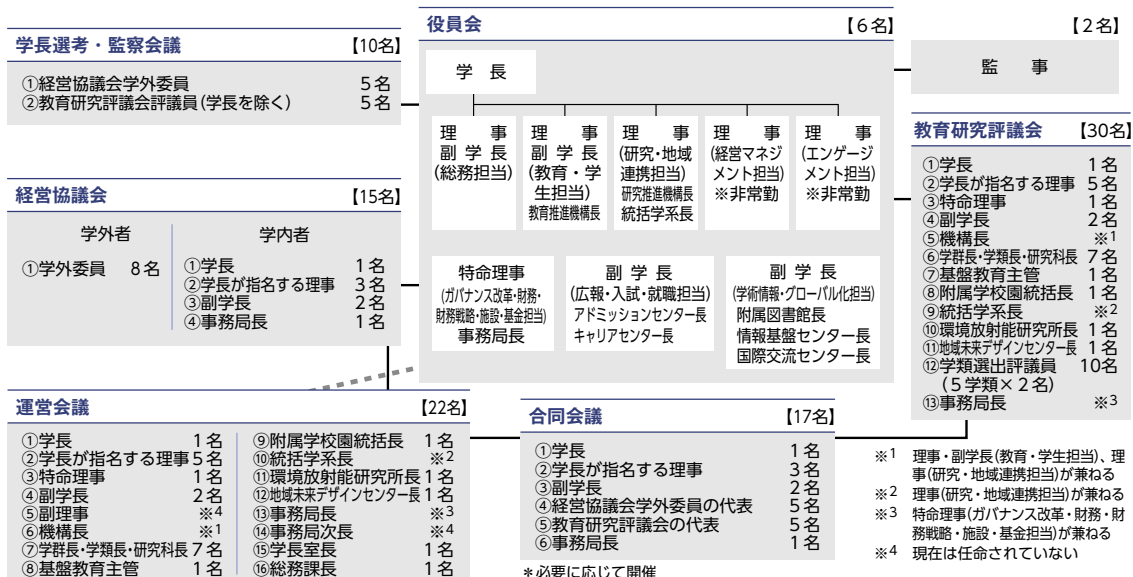
福島大学
Fukushima University



運営組織図

GOVERNING STRUCTURE

2025.5.1





学長表彰

PRESIDENT'S AWARD

2024.5.1

福島大学では、本学の教育・研究・社会貢献活動において顕著な貢献があった教員に対する学長表彰制度を設けております。教育・研究・社会貢献の各分野における教員の優れた業績をたたえ、それらの取組内容や成果等を学内外に広めることにより、本学の諸活動のより一層の推進を目指しております。

学長教育表彰 受賞者一覧

教育重視の人材育成大学としての本学の教育活動を一層推進することを目的として、質の高い教育の提供や教育改革の推進等に対して顕著な貢献があった者を表彰するものです。

※所属は受賞当時

受賞年度	表彰区分	氏 名	学 類	業 績 名
H28(2016)	学長教育表彰	川本 和久	人間発達文化学類	陸上競技部の競技力向上
H28(2016)	学長教育表彰	伊藤 宏	経済経営学類	就職支援を含めた「キャリア教育」の取り組み
H30(2018)	学長教育表彰	マッカーズランド・フィリップ・リロイ	経済経営学類	海外インターンシップの企画・運営
R 1 (2019)	学長教育奨励賞	マクマイケル ウィリアム ダグラス ユージ	経済経営学類	グローバル教育プログラムの企画・運営
R 5 (2023)	学長教育特別表彰	高貝 慶隆 山口 克彦	共生システム理工学類	理工学的専門教育と福島地域課題に向き合う放射線教育の相乗効果による次世代人材育成プログラム

学長学術研究表彰 受賞者一覧

福島大学研究者の研究意識の向上、更なる研究の活性化及び研究を目的とする外部資金を活用した研究を一層推進することを目的として、先進的又は独創的な研究を実施したことにより、特筆すべき研究業績があった者を表彰するものです。

※所属は受賞当時

受賞年度	表彰区分	氏 名	学 類	業 績 名
H26(2014)	学長学術研究表彰	小山 良太	経済経営学類	原子力災害に伴う農業・農村の損害構造の解明と生産・流通・消費段階における放射能汚染抑制対策に関する実践モデルの開発・普及
H27(2015)	学長学術研究表彰	内山 登紀夫	人間発達文化学類	対応困難発達障がい者と震災後の子どものメンタルヘルスに関する研究
H27(2015)	学長学術研究表彰	高橋 隆行	共生システム理工学類	ロボットならびにその関連技術に関する広範な研究と産学連携
H27(2015)	学長学術研究表彰	青山 道夫	環境放射能研究所	セシウム137の高精度分析とデータベース化に基づいた海洋循環の研究
H27(2015)	学長学術研究功績賞	金澤 等	共生システム理工学類	高分子化学の独創的研究成果「アミノ酸N-カルボキシ無水物の結晶構造解析とトポケミカル重合の発見」及び「プラスチックの吸水・接着性改良」
H28(2016)	学長学術研究表彰	沼田 大輔	経済経営学類	第15回 国際廃棄物管理・埋立シンポジウム SARDINIA2015における「廃棄物管理政策についてのベスト論文賞 (Luigi Mendia Award (Award for the best paper on waste management policy))」受賞
H28(2016)	学長学術研究奨励賞	高貝 慶隆	共生システム理工学類	超微量成分の迅速分析技術の開発と福島第一原発への展開
H29(2017)	学長学術研究表彰	齊藤 公彦	共生システム理工学類	極薄表面電極型ヘテロ接合シリコン太陽電池の開発
H29(2017)	学長学術研究奨励賞	平野 智久	経済経営学類	「平成28年度日本簿記学会奨励賞」受賞
H29(2017)	学長学術研究奨励賞	和田 敏裕	環境放射能研究所	魚類の生態特性に応じた放射性セシウム汚染実態の解明：福島県の漁業再開に向けて
H30(2018)	学長学術研究表彰	吉田 樹	経済経営学類	第20回 日本福祉のまちづくり学会全国大会における大会優秀賞の受賞
H30(2018)	学長学術研究表彰	難波 謙二	共生システム理工学類	原発事故後の環境放射能研究所および研究管理分野でのウクライナとの国際協力の推進
R 1 (2019)	学長学術研究表彰	小山 良太	経済経営学類	放射性物質検査体制の転換と認証制度に基づく新たな産地形成に関する研究
R 2 (2020)	学長学術研究表彰	佐久間 康之 高木 修一	人間発達文化学類	令和元年度小学校英語教育学会 (JES) 学会賞(研究論文)受賞 「小学6年生の言語性短期記憶における音韻認識と音声産出の特徴」
R 2 (2020)	学長学術研究表彰	宗形 潤子	人間発達文化学類附属 学校臨床支援センター	第17回 (令和元年発表) 日本生活科・総合的学習教育学会「研究奨励賞」受賞 「小学校生活科の砂遊びが入学間もない子どもの居場所づくりにもたらす影響～関与観察とエピソード記述を手掛かりとして～」
R 2 (2020)	学長学術研究表彰	長谷川 珠子	行政政策学類	平成30年度冲永賞受賞 「障害者雇用と合理的配慮―日米の比較法研究」
R 2 (2020)	学長学術研究表彰	高貝 慶隆	共生システム理工学類	原子力災害に貢献する放射性ストロンチウム迅速分析法の開発

R 2 (2020)	学長学術研究奨励賞	小井土 賢二	共生システム理工学類	日本LCA学会第11回奨励賞受賞 『ライフサイクル思考に基づくバイオマス利用技術とシステムの設計に関する研究』
R 3 (2021)	学長学術研究表彰	横尾 善之	共生システム理工学類	令和2年度水文・水資源学会論文賞受賞
R 3 (2021)	学長学術研究奨励賞	クリス レオン	共生システム理工学類	令和2年度水文・水資源学会論文奨励賞受賞
R 3 (2021)	学長学術研究奨励賞	吉永 和明	食農学類	日本油化学会進歩賞及びJournal of Oleo Science ベストオーサー賞受賞
R 4 (2022)	学長学術研究表彰	佐藤 理夫	共生システム理工学類	令和3年度環境放射能除染学会学会賞受賞
R 4 (2022)	学長学術研究表彰	新田 洋司	食農学類	令和3年日本作物学会賞受賞
R 5 (2023)	学長学術研究表彰	佐久間 康之 高木 修一	人間発達文化学類	日本語を母語として英語を学習している日本人の小中学生用のワーキングメモリの音声英語容量を測定するテストの開発
R 5 (2023)	学長学術研究表彰	今西 一男	行政政策学類	論文 小規模区画整理による遊休地再編の現状と課題
R 5 (2023)	学長学術研究奨励賞	岡野 夕香里	食農学類	植物免疫とウイルスの相互作用の分子機構に関する研究

学長社会貢献表彰 受賞者一覧

福島大学における社会貢献活動を一層推進することを目的として、教育研究活動を通して産官民学連携による各種事業に先導的及び積極的に関わり、社会の発展に貢献している者を表彰するものです。

※所属は受賞当時

受賞年度	表彰区分	氏 名	学 類	業 績 名
H 28 (2016)	学長社会貢献表彰	白石 豊	人間発達文化学類	地域及び国際社会におけるスポーツ競技力向上と学習ニーズへの貢献
H 28 (2016)	学長社会貢献表彰	西川 和明	経済経営学類	自治体等との連携による地域企業振興への取り組み
H 28 (2016)	学長社会貢献表彰	佐藤 理夫	共生システム理工学類	環境・エネルギー・ものづくりの理解促進活動と自治体支援
H 28 (2016)	学長社会貢献表彰	丹治 惣兵衛	地域創造支援センター	地域活性化及び復興支援に関する産官民学連携の取り組みへの功績
H 29 (2017)	学長社会貢献表彰	鈴木 典夫	行政政策学類	福島大学災害ボランティアセンターの運営・指導
H 29 (2017)	学長社会貢献表彰	阿部 浩一	行政政策学類	福島の歴史・文化等保全活動
H 29 (2017)	学長社会貢献奨励賞	蓮沼 哲哉	人間発達文化学類	トライアスロン競技における選手指導と当該スポーツ発展への貢献
H 30 (2018)	学長社会貢献表彰	菊地 芳朗	行政政策学類	考古学にもとづく地域貢献、および復興支援活動
R 2 (2020)	学長社会貢献表彰	川崎 興太	共生システム理工学類	福島の除染・復興まちづくりに関する社会貢献
R 3 (2021)	学長社会貢献表彰	本多 環	うつくしまふくしま未来支援センター	東日本大震災後のこども支援活動及び支援知に基づく地域貢献
R 3 (2021)	学長社会貢献奨励賞	高橋 有紀	行政政策学類	更正保護事業における顕著な教育及び社会貢献活動
R 4 (2022)	学長社会貢献表彰	仲井 康通	地域未来デザインセンター	東日本大震災被災地における復興支援・自治体コーディネート活動
R 5 (2023)	学長社会貢献表彰	岩崎 由美子	行政政策学類	過疎・中山間地域のビジョン策定、活性化活動の支援

TOPICS

令和6年度学長表彰

令和6年度学長表彰の表彰式を令和6年6月14日に実施いたしました。
教育表彰は5回目、学術研究表彰は11回目、社会貢献表彰は8回目の表彰式となります。

令和6年度学長表彰表彰式の様子



(左から)天野和彦特任教授、吉田樹教授、今西一男教授、馬場一晴教授、阪本尚文准教授

■受賞者

	表彰区分	氏 名	業 績 名
教育	学長教育表彰	今西 一男 行政政策学類 教授	コース横断型問題探究セミナーⅡ・Ⅲ 地方議会の議場構造論
		阪本 尚文 行政政策学類 准教授	
研究	学長学術研究表彰	吉田 樹 経済経営学類 教授	定額制タクシーサービスの継続要件と高齢者のモビリティ確保に関する考察
		馬場 一晴 共生システム理工学類 教授	一般相対性理論を超える拡張重力理論における宇宙の加速膨張機構と三大物質組成、大域的磁場および原始重力波の起源に関する研究
	学長学術研究奨励賞	阪本 尚文 行政政策学類 准教授	「草創期福島大学経済学部の総合的研究」および「高橋幸八郎の戦争—1941-1945」
社会貢献	学長社会貢献表彰	天野 和彦 人間発達文化学類 特任教授	大規模災害時における避難所支援、独自教材を活用した防災教育の推進・普及

学群・学類・研究科・学系

EDUCATIONAL AND RESEARCH SYSTEMS

学群・学類(教育組織 Educational Systems)



福島大学では、教育組織と研究組織を分離した「学群・学類・学系制」を導入し、教育や研究における教員の相互交流を推進している。人文社会学群に「人間発達文化学類(旧教育学部)」「行政政策学類(旧行政社会学部)」「経済経営学類(旧経済学部)」の3学類を、理工学群に「共生システム理工学類」を、農学群に「食農学類」を置いている。人文社会学群には社会人教育を担う「行政政策学類夜間主」を設置している。

人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences

人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture

生涯を通じた学びや人の成長を支える人材を育成

人間発達文化学類では、生涯にわたる人間の発達を個人・社会・文化との関わりにおいて支援していく人材の養成を目指しており、学校教員をはじめとして、社会の様々な分野で活躍する教育関係者、人間発達の支援者を育てる。学生は、自らの興味・関心や目指す進路に応じて、1年次から専門のコースに所属し、各コースの用意するプログラムを選択して学ぶ。この学びにより、専門に関する確かな知識・技術と実践的な応用力を身につけることができる。各種免許・資格等のうち、保育士・幼稚園教員は心理学・幼児教育コースで、特別支援学校教員は特別支援・生活科学コースで、小学校・中学校・高等学校教員は全コースで養成している。

教育実践コース	学校現場で子どもの学びを支え、確実な成長を助ける学校教員として求められる実践力をつけることを目指す
心理学・幼児教育コース	人の行動・心理についての知識を得て、科学的手法により研究を行う心理学と、乳幼児の発達を学び、幼児期にふさわしい経験を探る幼児教育について学ぶ
特別支援・生活科学コース	知的障害・肢体不自由・病弱などサポートを必要とする子どもたちの発達支援や家庭・地域社会に関わる生活科学の基礎について学ぶ
芸術・表現コース	芸術の意義を理解し、音楽や美術に関わる力量を理論的、実践的に身につけるための学びを行う
人文科学コース	言語や文学、地域や社会のあり方、その歴史や思想など、文化について広く深く学び、地域の文化を継承し、発展させていく力を養う
数理自然科学コース	身近な自然や先端的課題の中から数学や自然科学に関わる諸問題を見だし、それらを探究的に解決する学びを行う
スポーツ健康科学コース	スポーツ技能の向上と指導力を高め、生涯にわたるスポーツライフの実現と健康福祉について学ぶ

TOPICS

福島の教育的課題に取り組む

令和5年9月に福島県教育委員会と国立大学法人福島大学との間で「『福島ならではの教育』と『学びの変革』を推進する教育人材の育成に関する連携協定」を締結した。この協定のもと、福島県内に9校設置されている教育コースに所属する高校生を対象とした以下のようなプログラムを実施している。①模擬授業：教育や教師について大学教員が各高校へ出向き模擬授業を行う。②高校生セミナー：高校生が来学し教育に関する講義の聴講や模擬授業体験を行う。③アドバンストプレイズメント：大学の授業を先取り履修して大学の単位取得を目指す。また福島県教育庁から講師を招き大学生を対象に福島県の教育の現状について講話を実施している。



福島県教育長の講演会の後、教育長と大学生、大学院生による鼎談が行われた

地域や人々の暮らしに、学際的・実践的に貢献する

行政政策学類では、法学、政治学、行政学、社会学、歴史・文化研究等の多彩な科目をそろえ、学際的な観点から地域社会が直面している諸問題を認識するとともに、地域の人々や自治体などのさまざまな主体との協働を通して、実践的な問題解決に取り組む人材を養成する。また東北地方の国立大学文系では唯一の夜間主を設けており、働きながら学び、大学での学修を職業や地域での生活に活かすことのできる人材を育成すると同時に、さまざまな世代の共修による学びの活性化を目指している。国家公務員・地方公務員・NPO職員等の公共部門はもちろん、民間企業にも幅広く人材を輩出している。

地域政策と法コース	法や行政の仕組みを知り、政策づくりから見直しまでの一連のプロセスに取り組む
地域社会と文化コース	地域社会と文化形成にかかわる幅広い知識を修得し、新しい地域づくりを提案し実践をめざす
夜間主(社会人教育)	柔軟なカリキュラムで「学び」と「社会人としてのキャリア」を支える(コースは昼と同様)

TOPICS

地域の課題を調べ、地域とともに楽しむ

本学類では昼間・夜間主とも、2年次進級の際、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」のいずれかに所属する。いずれのコースでも演習(ゼミ)科目を中心に、一方向的な講義形式とは異なる、学修者の能動的な参加を取り入れたアクティブ・ラーニングが実施される。

例えば「地域社会と文化コース」の場合、「社会計画」「社会学」「地域文化」「比較文化」の4分野に所属する教員が、各分野の特徴を活かして演習を実施する。特に現地調査や実践的な活動への参加を通じて、地域社会を中心とした現代社会の諸課題に直接触れ、考える機会を設けることが、同コースでは日常的に行われている。こうして、自分事として諸課題を捉える感性を養っていく。

その一つ、3・4年次の「演習(社会調査論)」では、人口減少や少子化・高齢化の影響を受ける、計画的住宅地の再生に関する調査や実践を続けている。近年では、いわゆるニュータウンにおいて空洞化する中心施設の活用を考えるための全国規模のアンケート調査や、近隣での現地調査を行っている。また、施設を活性化し、住民の居場所とするための実践的な活動にもとりくんでいる。そうした成果を本学類の学生論集『嶺風』に投稿するなど研究を進めている。

演習科目での調査や実践の経験は、最終的には学生個々がとりくむ卒業研究に活かされていく。そして、職業生活に止まらない、この社会でよりよく生きていくための手立てとしていくのである。



近隣のニュータウンで現地調査や住民の居場所づくりを実施(福島市蓬萊団地)

経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration

100年の実績と未来への革新、福大経済

経済経営学類は、旧制福島高等商業学校以来の100年の実績を未来においてより輝かしいものとすべく革新を続けている。現在、本学類では経済学コース、経営学コースの2コースに加え、両コース横断的なグローバル・エキスパート・プログラムを設定し、両コースで学ぶ知識、技能を世界のステージで応用できる人材を育成する。2コースの下には、学生の多様な興味関心と将来の進路に対応すべく、4つの履修モデルを設定している。

経済学コース	現代の経済社会を理解し、経済の理論と応用に関わる専門的知識・能力を修得させる
経営学コース	現代の経済社会を理解し、地域経済と経営、会計と金融の専門的知識・能力を修得させる

TOPICS

グローバル・エキスパート・プログラム

当プログラムは、異なる文化的背景を持つ人々の中で他者に共感しつつ、自らの周りの諸課題を地球規模で考える人材育成を目的とし、欧州評議会が提唱する複言語主義に基づき、日本語、英語とともに、英語以外の外国語の学修を義務づけている。学生は、身につけた外国語運用能力を武器に、留学、海外調査、海外インターンシップなど異文化活動に参加することで、実践経験と知識をバランスよく積み重ね、自らの学修をより深いものになっている。早ければ2年次後期から1年間の留学が可能である。また、これまでに、テキサス州ヒューストン市役所でのインターンシップ、ヨーロッパやアジアの数カ国で「食」「観光」「消費行動」に関する共同調査を実施し、その成果を社会に対して積極的に発信してきた。認定基準を満たした学生には、就職活動にも利用できるよう、第6セメスター終了時に認定証を交付している。



「消費行動」に関する共同調査・発表
(「ワールドマーケット」於アオウゼ)



共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science

システム思考の理工系人材の育成

共生システム理工学類では、現代社会や地域の問題をシステム科学的にとらえ、人・産業・環境が共生する社会を構築するために必要な学問を総合的・実践的に学び、21世紀の社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知識・技能と現場応用力を備えた理工系人材を育成する。1年次では幅の広い理工学の基礎を学び、2年次からは4コースに分かれて専門分野を深く学び、3年次後期からは研究室に配属されて演習や卒業研究を行う。なお、共生システム理工学類では、令和7年度のコース再編と同時に定員を40名増員し、入学定員を200名とした。

情報理工学コース	数学やアルゴリズムなどの理論から、プログラミングを含めた情報システム設計・開発スキル、データ分析や問題発見が行える実践力まで、バランスのとれた能力を有した情報人材を育成する。
メカトロニクスコース	物理学・機械工学・電気工学・人間工学・生理学を基盤として、さまざまな分野で役立つ“技術”や“システム”の創出を担う研究者・開発者を育成する。
分子デザイン科学コース	物質・材料関連分野について、化学に関するさまざまな講義や実験を通して体系的に学ぶことで、先進的でクリエイティブな化学系人材を育成する。
環境システムコース	自然災害の予測や防災、環境や生物の保全、持続可能な社会の構築に関して、実践的かつ技術的に対応できる人材や、教育・普及に専門的に携わることのできる人材を育成する。

TOPICS

高度情報専門人材の育成

人材ニーズの増大が著しい「情報のスペシャリスト」を目指す学生を後押しするため、学習内容だけでなく、実習設備など学習環境の充実、就学支援の面も含めて教育プログラムを準備した。

情報系のコア知識の修得に加えて、現実課題に対する視野と実践力を養成するため、理工学類入学後の早い段階から、「大学院での学び」や「大学院修了後の活躍像」などキャリアビジョンの獲得を支援する「実践情報工学プログラム」を実施し、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験などの国家資格を在学中に受験・取得することも可能である。



新たに整備されたコンピューター室

食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences

食と農をつなげて科学する

「農学専門教育」と「農学実践型教育」の2つの柱からなる農学教育により、実践的に農学を学び、食と農の課題に幅広く取り組む力を養う。

食品科学コース	農産物や食品の機能性や高付加価値化に関する技術や知識を学ぶ
農業生産学コース	農産物の安定生産、高品質・高収量化に関する技術と知識を学ぶ
生産環境学コース	持続的な農林業のための環境管理・保全に関する技術と知識を学ぶ
農業経営学コース	魅力的な農業経営、地域やフードシステムに関する知識と技能を学ぶ

TOPICS

農場基礎実習

入学後すぐ1年生から農場基礎実習を開始する。大学の農場で稲、野菜、果樹、花卉を栽培し、作物栽培に必要な技術や管理方法に関する知識を習得する。播種、定植、摘果、肥培管理、病害虫管理、収穫・貯蔵等の基本的な作業を学ぶとともに農業機械や農機具の取り扱いについても学修する。併せて、農場基礎実習では「体験、観察力、コミュニケーション(学生同士、学生と教員、学生と地域の方々)」を養う場でもある。この農場基礎実習を通して農業の基礎を身に付け、2年生以降の現地での実践につなげる。



質量分析装置での実験の様子



田植え実習の様子



森林実習



温室での実習

地域デザイン科学研究科 Graduate School of Regional Design

地域がかかえる21世紀的課題を「デザイン思考」で解決する

地域デザイン科学研究科は、人文科学および社会科学の知を総合して今後の地域社会のあり方をデザインしていくイノベーション人材の養成を目的とする。震災・原発事故からの復興・再生、21世紀的課題の解決、「新しい社会づくり」の理論化・モデル化は、福島のみならず、日本ひいては世界の持続的発展にとって喫緊の課題である。そうした課題に、「住民目線で将来の地域のあるべき姿を描き、課題を整理したうえでその解決方法を具体的に立案・設計・試行する」というデザイン思考で立ち向かう高度専門職業人を養成するために、以下の3つの専攻を置く。

(1) 人間文化専攻

人間文化専攻では、人間社会が歴史的に創り上げてきた文化、人間科学の専門的な探究と他専攻で開講されている各分野の専門科目との学際的な融合を通して、人間の全人的なあり方をデザインし、高度で多様な専門的知識を持ち、地域との協働の中で新しい価値を創造して諸問題の解決を先導できる高度専門職業人を養成する。

言語文化コース	言語学、文学、文化学、言語文化教育
地域文化コース	歴史学、地理学、経済学、社会学、倫理学、食物学、被服学、生活科学教育
スポーツ・芸術文化コース	スポーツ科学、音楽、美術
人間発達心理コース	心理学、幼児教育、臨床心理

(2) 地域政策科学専攻

地域政策科学専攻では、自治やコミュニティのあり方を再デザインし、地域が直面する21世紀的課題を解決に導く力を持つ市民や高度専門職業人を養成することを目的とする。そのために、他専攻の分野も含めた人文・社会科学の諸研究の知見をもとにした複合的な視点を取り入れ、また、歴史的に形成されてきたアイデンティティや、グローバル社会の中での多様性を尊重する姿勢、現場(フィールド)での経験を重視した教育・研究を行う。

法・政策コース	公法、私法、政治・行政
コミュニティ探究コース	社会計画、地域文化、比較文学、社会学

(3) 経済経営専攻

経済経営専攻では、グローバルな視点に立つ経済学、これまでの常識や慣例にとらわれることなく、ほかの専攻と連携しながら、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力をもって、地域および世界の21世紀的課題に果敢に挑み社会に改革をもたらす、イノベーション人材を養成する。

経済学コース	経済学、外国語、外国文化
経営学コース	経営学、会計学

共生システム理工学研究科 Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology

理工学の問題解決を通して持続可能な社会の構築に貢献する

学士課程で培われた知識や技術をさらに進化させ、科学技術の進化に適応する高度で広範な教育研究を提供する福島大学大学院共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻修士課程を2008(平成20)年度に開設した。年次進行で、2010(平成22)年度からは博士後期課程を開設(修士課程は博士前期課程と改称)し、2019(平成31)年度には共生システム理工学専攻に加えて環境放射能学専攻の修士課程を本研究科に開設している。さらに2021(令和3)年度には環境放射能学専攻博士後期課程を開設(修士課程は博士前期課程と改称)した。

共生システム理工学専攻 博士前期課程	数理・情報システムコース	数学、情報科学、経営システム工学、およびそれらを基礎とする数理・情報システム分野の研究
	物理・メカトロニクスコース	物理学、機械工学、電気電子工学、制御工学、およびそれらを基礎とする物理・メカトロニクス分野の研究
	物質・エネルギー科学コース	化学、材料工学、化学工学、エネルギー工学、およびそれらを基礎とする物質・エネルギー科学分野の研究
	生命・環境コース	生物学、心理学、地学、気象学、水文学、およびそれらを基礎とする生命・環境分野の研究
共生システム理工学専攻 博士後期課程	共生数理システム領域	機械・電子・制御、数理情報・コンピュータ科学、経営情報システム、技術経営(MOT)、生産管理とロジスティクスシステムに関する研究
	共生環境システム領域	機能性材料・資源循環・エネルギー技術、環境の実態把握、環境保全・環境再生、衛星観測やモデリング、人間環境システムの管理・計画、人間の心理・生理的仕組みに関する研究
環境放射能学専攻 博士前期課程	環境放射能学コース	生態学、生物学、またはそれらを基礎とする放射生態学分野の研究
		地球科学、現象数理学、またはそれらを基礎とする放射能モデリング分野の研究
環境放射能学専攻 博士後期課程	環境放射能学領域	化学、物理学、機械工学、電気工学、またはそれらを基礎とする放射能計測分野の研究
環境放射能学専攻 博士後期課程	環境放射能学領域	放射能(線)の計測、モニタリング計画、予測評価、環境修復、放射線防護、廃炉、中間貯蔵、浄化に関する研究



食農科学研究科 Graduate School of Food and Agricultural Sciences

食と農で持続可能な社会を

食農学類の学びを継続・発展させ、福島県の農林水産業と食料・食品関連産業を発展させるための人材を養成する。被災地域における新たな経営・生産方式の導入、「ふくしま」ならではの高付加価値化の取組や環境と共生する農林水産業の推進といった福島県が抱える固有の地域課題の解決に取り組む。

本研究科は1研究科1専攻(食農科学専攻)の体制のなかに4コースを設け、学生は主指導教員が担当するコースに所属し、授業、演習を通して研究技法を学ぶとともに主指導教員と2名の副指導教員の指導を受けながら自ら研究を行い修士論文として成果をまとめる。

食品科学コース	食品科学を農場から食卓までのフードチェーンの繋がりの中に位置づけ、食材の生物学的、物理化学的な加工・保蔵技術の知識や理論に加えて、食と健康及び安全性、嗜好性などの生理学的、医学的な知識と理論を修得する。さらに先端機器分析とデータ科学による定量的化学・生物学の基礎と応用を学び、食材、加工・保蔵、生体に関わる複雑系における科学的根拠となる技術と理論を体系的に学修する。
農業生産科学コース	作物生産、食料生産、栽培資源利活用、栽培環境の諸問題を解決するための専門的で高度な知識や技術力、新規栽培品種の開発と既存品種の見直し、栽培技術の革新、病害虫の農業被害管理に関する専門的で高度な科学技術を学修する。また、研究を立案して推進する能力、データを解析し考察する能力、説得力のあるプレゼンテーション技術など、科学的・専門的で高度な専門知識と技術を学修する。
生産環境科学コース	食と農が依って立つ森林環境と農村環境を維持するため、環境調和型農林業生産、里山管理、野生鳥獣害防除、森林・農地の物質循環、農業インフラ管理、ビッグデータ・ICT・人工知能(AI)の農業への活用など、生態系の動態解明から農山村環境の管理システムまでを網羅した専門的で高度な理論及び科学技術を学修する。データサイエンスを基盤とした研究活動を行い、科学技術を社会実装するための手法を学修する。
農業経営科学コース	農業経営やフードシステム、地域・農村社会に関する高度な専門的知識を学修することにより、食と農に関わる問題群を解決するための知識と人文・社会科学的な技能を修得する。また、データサイエンスとフィールドワークの方法論、及び対話・議論の場を重視し、現場課題に立脚した研究活動を推進し、これからの農林水産業や食品産業、地域・農村社会を担える人材の養成を目指す。

岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程) United Graduate School of Agricultural Sciences, Iwate University

岩手大学大学院連合農学研究科は、岩手大学(設置大学)、弘前大学、山形大学、福島大学にて構成されます。各大学の特色を生かした教育と研究体制の強みを相互に生かした運営を行っています。食農科学研究科(修士課程)の大学院生(修士)が連合農学研究科(博士課程)へ進学し、更なる研究の展開や高度人材養成を行います。

教職実践研究科(教職大学院) Graduate School of Professional Teacher Education

地域課題や教育課題に果敢に挑むイノベーション人材としてのミドル・リーダーを養成する

教職実践研究科は、地域課題や教育課題を認識し、新たな教育の探究により、未来を創造し、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力を身につけることで課題に果敢に挑み、その解決に寄与する人材を養成することを目的とする。

大学院の進学者の教育とともに、県教育委員会、市町村教育委員会の協力のもと、現職教員研修の場としても機能し地域社会に貢献する。

ミドル・リーダー養成コース	自らの教育実践力(授業力、生徒指導力など)をもとに、学級経営から学年経営・学校経営へと学校課題を視野に入れつつ、チーム学校を支える重要な役割を果たす教員として学校課題を解決する機動力をもった「ミドル・リーダー」を養成
授業デザインコース	自らの教育実践力(授業力、生徒指導力など)を改善し、学級経営・教科指導の力を確固たるものにするとともに、学校課題の意識をもった、「次のミドル・リーダー」を養成 また、学部新卒学生を対象とし、年間を通じた学校経験を重ねながら、多様な現職教員と交流することを通じて、教育実践の課題を総体として理解し、学校教員としての自覚をもった「次世代のミドル・リーダー」を養成
特別支援教育コース	障害の重度化、重複化、多様化に対応でき、特別支援学校のマネジメント力または高度な実践力を身につけた特別支援学校教員を養成

新制度設計のもとに教育組織は学類として、研究組織は学系として位置付けられた。現在、8つの学系が存在し、各教員は自己の専門領域に応じていずれかの学系に所属し、研究活動に従事している。各教員は学系を基盤に日々研究交流を行っている。そして今日、大震災・原発事故後の地域社会の多様なニーズに応えることを重要課題として意識し、学系プロジェクトや多様なプロジェクトを通して、自治体の再生や支援、農林漁業や製造業の復興・再生、学校・教育支援などに関わっている。

教育学系 Education

人間の存在と社会ならびにそれらの発達、教育との関係において、多面的・多角的、統合的に理解することを目的に研究を行っている。教育の現象を論じる本学系ならではの特徴である、多様なテーマと観点のもと、諸問題に理論的かつ実践的にアプローチし、体系的な知の創造に向けた模索と挑戦を重ねている。

地域文化・言語学系 Regional Culture and Languages

日本、アジア、世界の諸地域の社会、思想、歴史、文化、文学、芸術、言語を対象とした基礎的研究・応用的研究を推進するとともに、領域を超えた研究の連携や地域との協働的活動を通して、人間や社会の諸相について様々な視点から探究する。

健康・運動・心理学系 Health, Sports Science and Psychology

健康・運動・心理学系に所属する教員は、体育、スポーツ、健康科学、心理学、医学等を専門とし、人と社会の身体的・心理的健康に寄与する研究と実践を行っている。

法・行政・社会学系 Law, Administration and Society

政策や行政の制度の実態を踏まえ、法・政治・行政学の視点で、社会的・経済的諸問題を研究している。また、社会の構造及び地域社会の問題を踏まえ、政策化・社会計画化する視点で、地域の諸課題を研究している。そして、学系領域相互の有機的関連も視野に入れた研究を進めている。

経済・経営学系 Economics and Business Administration

経済・経営学系には大別して経済学・経営学・会計学の3つの研究分野がある。各分野では、基礎理論の発展に資する研究が積み重ねられるとともに、地域社会や企業等の抱える上記分野に関連する課題の解決に向けた研究も進められている。

自然科学・情報学系 Natural Sciences and Informatics

自然科学・情報学系は、数学・物理学・化学・環境科学・情報科学分野を研究領域とする教員から構成されている。自然の真理を探究するとともに、環境保全や情報化社会などへの貢献も目指しながら研究している。

応用理工学系 Applied Science and Technology

科学技術を社会に活かす目的を持って、研究を行っている。取り扱うテーマは多岐にわたり、学問分野横断的なテーマも多くある。共同研究など、産学連携活動が盛んなことも特徴である。

生物・農学系 Biological and Agricultural Sciences

多様な生物と地域環境をめぐる自然科学に取り組むとともに、農林水産業や食品産業を牽引する新時代の農学を展開する。放射能に関する研究や社会科学の研究とともに、福島ならではの持続可能な社会の創造に貢献する。

学術刊行物

ACADEMIC PUBLICATIONS

2025.5.1		
部 局 等 Division	刊 行 物 名 Name	年発行回数 Issues per year
福 島 大 学 Fukushima University	福 島 大 学 研 究 年 報 Annual Report of Fukushima University	1 回
人 間 発 達 文 化 学 類 Faculty of Human Development and Culture	福島大学人間発達文化学類論集 Bulletin of The Faculty of Human Development and Culture	2 回
行 政 政 策 学 類 Faculty of Administration and Social Sciences	福島大学教職実践研究 Annual Report of Research on Teaching Practice Fukushima University	1 回
経 済 経 営 学 類 Faculty of Economics and Business Administration	行 政 社 会 論 集 The Journal of Administration and Social Sciences	4 回
保 健 管 理 セ ン タ ー Healthcare Center	商 学 論 集 Journal of Commerce, Economics and Economic History	4 回
地 域 未 来 デ ザ イ ン セ ン タ ー Community Future Design Center	福島大学保健管理センター紀要 Bulletin of the Healthcare Center	1 回
学 校 臨 床 支 援 セ ン タ ー School Clinical Support Center	地域未来デザインセンター年報 Annual Report of Community Future Design Center	1 回
	福島大学地域創造 Fukushima University Journal of Regional Affairs	2 回
	学校臨床支援センター紀要 Bulletin of School Clinical Support Center	2 回





役 職 員

ADMINISTRATORS

2025.5.1

学長 President	三 浦 浩 喜 MIURA Hiroki
理事・副学長(総務担当) Executive Director・Vice President (General Affairs)	佐 野 孝 治 SANO Koji
理事・副学長(教育・学生担当) Executive Director・Vice President (Education and Academic Affairs)	谷 雅 泰 TANI Masayasu
教育推進機構長 Director, Organization for the Promotion of Education	
理事(研究・地域連携担当) Executive Director (Research and Regional Affairs)	
研究推進機構長 Director, Organization for the Promotion of Research	松 田 幹 MATSUDA Tsukasa
統括学系長 Chair, Researchers' Department	
理事(経営マネジメント担当)※非常勤 Executive Director (Business Management Affairs)	鈴 木 廣 明 SUZUKI Hiroaki
理事(エンゲージメント担当)※非常勤 Executive Director (Engagement Affairs)	濱 津 さとみ HAMATSU Satomi
監事 Auditor	紺 野 喜代志 KONNO Kiyoshi
監事※非常勤 Auditor	菅 家 節 子 KANKE Setsuko
特命理事(ガバナンス改革・財務・財務戦略・施設・基金担当) Special Mission Director (Governance Reform, Finance, Financial Strategy, Facility and Fund Affairs)	齋 藤 康 行 SAITO Yasuyuki
事務局長 Director General	
副学長(広報・入試・就職担当) Vice President (Public Relations, Admission and Employment Affairs)	
アドミッションセンター長 Director, Admission Center	田 中 明 TANAKA Akira
キャリアセンター長 Director, Career Center	
副学長(学術情報・グローバル化担当) Vice President (Academic Information and Global Affairs)	
附属図書館長 Director, University Library	菊 地 芳 朗 KIKUCHI Yoshio
情報基盤センター長 Director, Information Technology Center	
国際交流センター長 Director, International Center	
人文社会学群長 Provost, Cluster of Human and Social Sciences	牧 田 実 MAKITA Minoru
理工学群長 Provost, Cluster of Science and Technology	長 橋 良 隆 NAGAHASHI Yoshitaka
農学群長 Provost, Cluster of Agricultural Sciences	新 田 洋 司 NITTA Youji
人間発達文化学類長 Dean, Faculty of Human Development and Culture	牧 田 実 MAKITA Minoru
行政政策学類長 Dean, Faculty of Administration and Social Sciences	今 西 一 男 IMANISHI Kazuo
経済経営学類長 Dean, Faculty of Economics and Business Administration	熊 沢 透 KUMAZAWA Toru
共生システム理工学類長 Dean, Faculty of Symbiotic Systems Science	長 橋 良 隆 NAGAHASHI Yoshitaka
食農学類長 Dean, Faculty of Food and Agricultural Sciences	新 田 洋 司 NITTA Youji
地域デザイン科学研究科長 Dean, Graduate School of Regional Design	小野原 雅 夫 ONOHARA Masao
共生システム理工学研究科長 Dean, Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology	長 橋 良 隆 NAGAHASHI Yoshitaka
食農科学研究科長 Dean, Graduate School of Food and Agricultural Sciences	新 田 洋 司 NITTA Youji
教職実践研究科長 Dean, Graduate School of Professional Teacher Education	宗 形 潤 子 MUNAKATA Junko
基盤教育主管 Director, Foundation Education	福 富 靖 之 FUKUTOMI Yasuyuki
附属学校園統括長 Chair, attached school	初 澤 敏 生 HATSUZAWA Toshio
地域未来デザインセンター長 Director, Community Future Design Center	鈴 木 典 夫 SUZUKI Norio
環境放射能研究所長 Director, Institute Environmental Radioactivity	難 波 謙 二 NANBA Kenji
保健管理センター所長 Director, Healthcare Center	片 山 規 央 KATAYAMA Tadahiro
教職課程センター長 Director, Center for Curriculum of Teacher Education	森 本 明 MORIMOTO Akira
附属幼稚園長 Kindergarten Principal	川 田 潤 KAWATA Jun
附属小学校長 Elementary School Principal	井 實 充 史 IJITSU Michifumi
附属中学校長 Junior High School Principal	小 川 宏 OGAWA Hiroshi
附属特別支援学校長 Special Needs Education School Principal	佐 藤 純 一 SATO Junichi
学長室長 Chief, President Unit	木 村 勝 典 KIMURA Katsunori
監査室長 Chief, Auditing Unit	伊 藤 敬 義 ITO Takayoshi
総務課長 Chief, General Affairs Division	細 見 史 子 HOSOMI Ayako
人事課長 Chief, Personnel Division	木 村 真 美 KIMURA Matsumi
会計課長 Chief, Financial Affairs Division	栗 原 力 KURIHARA Chikara
施設課長 Chief, Facilities Division	羽 角 博 文 HASUMI Hirobumi
教務課長 Chief, Educational Affairs Division	加 藤 千 里 KATO Chisato
学生支援課 Chief, Student Services Division	渡 邊 能 仁 WATANABE Yoshihito
入試課長 Chief, Admissions Office	紺 野 奈津代 KONNO Natsuyo
研究振興課長 Chief, Research Development Division	西 嶋 基 輝 NISHIJIMA Motoki
社会共創課長 Chief, Community Engagement Division	長 根 恵 工美 NAGANE Ekumi
学術情報課長 Chief, Academic Information Division	小 沼 清 二 ONUMA Seiji

経営協議会委員

MANAGEMENT COUNCIL

2025.5.1

学外委員		
石 山 純 恵	株式会社クリフ代表取締役	ISHIYAMA Sumie
岩 淵 明	岩手大学名誉教授	IWABUCHI Akira
遠 藤 雄 幸	川内村村長	ENDO Yuko
加 藤 知 道	元福島県立橋高等学校校長	KATO Tomomichi
高 田 豊 一	福島市政策調整部次長	TAKADA Toyochi
土 田 淳	一般財団法人大原記念財団副理事長	TSUCHIDA Atsushi
中 村 考 昭	ゼビオホールディングス株式会社副社長執行役員	NAKAMURA Takaaki
羽 田 貴 史	広島大学名誉教授・東北大学名誉教授	HATA Takashi
学内委員		
三 浦 浩 喜	学長	MIURA Hiroki
佐 野 孝 治	理事・副学長(総務担当)	SANO Koji
谷 雅 泰	理事・副学長(教育・学生担当)	TANI Masayasu
松 田 幹	理事(研究・地域連携担当)	MATSUDA Tsukasa
田 中 明	副学長(広報・入試・就職担当)	TANAKA Akira
菊 地 芳 朗	副学長(学術情報・グローバル化担当)	KIKUCHI Yoshio
齋 藤 康 行	事務局長	SAITO Yasuyuki

教育研究評議会委員

EDUCATIONAL RESEARCH COUNCIL MEMBER

2025.5.1

三 浦 浩 喜	学長	MIURA Hiroki
佐 野 孝 治	理事・副学長(総務担当)	SANO Koji
谷 雅 泰	理事・副学長(教育・学生担当)	TANI Masayasu
松 田 幹	理事(研究・地域連携担当)	MATSUDA Tsukasa
鈴 木 廣 明	理事(経営マネジメント担当)	SUZUKI Hiroaki
濱 津 さとみ	理事(エンゲージメント担当)	HAMATSU Satomi
齋 藤 康 行	特命理事(ガバナンス改革・財務・財務戦略・施設・基金担当)	SAITO Yasuyuki
田 中 明	副学長(広報・入試・就職担当)	TANAKA Akira
菊 地 芳 朗	副学長(学術情報・グローバル化担当)	KIKUCHI Yoshio
牧 田 実	人文社会学群長・人間発達文化学類長	MAKITA Minoru
今 西 一 男	行政政策学類長	IMANISHI Kazuo
熊 沢 透	経済経営学類長	KUMAZAWA Toru
長 橋 良 隆	理工学群長・共生システム理工学類長・共生システム理工学研究科長	NAGAHASHI Yoshitaka
新 田 洋 司	農学群長・食農学類長・食農科学研究科長	NITTA Youji
小野原 雅 夫	地域デザイン科学研究科長	ONOHARA Masao
宗 形 潤 子	教職実践研究科長	MUNAKATA Junko
福 富 靖 之	基盤教育主管	FUKUTOMI Yasuyuki
初 澤 敏 生	附属学校園統括長	HATSUZAWA Toshio
難 波 謙 二	環境放射能研究所長	NANBA Kenji
鈴 木 典 夫	地域未来デザインセンター長	SUZUKI Norio
原 野 明 子	人間発達文化学類教授	HARANO Akiko
安 田 俊 広	人間発達文化学類教授	YASUDA Toshihiro
坂 本 恵	行政政策学類教授	SAKAMOTO Megumi
福 島 雄 一	行政政策学類教授	FUKUSHIMA Yuichi
井 上 健	経済経営学類教授	INOUE Ken
奥 本 英 樹	経済経営学類教授	OKUMOTO Hideki
大 山 大	共生システム理工学類教授	OYAMA Dai
柴 崎 直 明	共生システム理工学類教授	SHIBASAKI Naoaki
河 野 恵 伸	食農学類教授	KONO Yoshinobu
神宮宇 寛	食農学類教授	JINGUJI Hiroshi

役職員数

NUMBER OF EXECUTIVES, FACULTY AND STAFF

2025.5.1

区 分 Division	職 種 Job Classification	役 員 Directors			教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	助手 Instructors	計 Sub Total	附属学校教員 Teachers of Special School	事務系職員 Administration Officers	合計 Total
		学長 President	理事 Executive Director	監事 Auditor									
現 員 Number of Regular Staff		1	5※1	2※2	130	87	4	1	0	230	85	137※3	452
役 員 Directors		1	5※1	2※2						8			8
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture					31	19	1			51			51
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences					21	13				34			34
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration					19	13				32			32
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science					34	17	1			52			52
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences					17	18	1			36			36
附属図書館 University Library													
保健管理センター Healthcare Center					1	1				2		2	4
地域未来デザインセンター Community Future Design Center					1					1			1
情報基盤センター Information Technology Center						1				1			1
教育推進機構 Organization for the Promotion of Education						2				2			2
学校臨床支援センター School Clinical Support Center					2	1				3			3
国際交流センター International Center							1			1			1
アドミッションセンター Admission Center													
アクセシビリティ支援室 Accessibility support room								1		1			1
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity					4	2				6			6
附属幼稚園 Kindergarten											4		4
附属小学校 Elementary School											31		31
附属中学校 Junior High School											22		22
附属特別支援学校 Special Needs Education School											28		28
事務局 Administration Bureau												135	135

※1 常勤3名、非常勤2名

※2 監事は常勤1名、非常勤1名

※3 各部局等に配置される職員を含む



国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

海外協定校 International Partner Institutions

2025.5.1

国 / 地域 Nation / Region	大学名 University
インドネシア Indonesia	シアクアラ大学 Syiah Kuala University
韓国 Republic of Korea	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies
	ソウル市立大学校 University of Seoul
	中央大学校 Chung-Ang University
	培材大学校 Pai Chai University
中国 China	北京師範大学 Beijing Normal University
	華東師範大学 East China Normal University
	河北大学 Hebei University
	中南財經政法大学 Zhongnan University of Economics and Law
	西南交通大学 Southwest Jiaotong University
	重慶理工大学 Chongqing University of Technology
フィリピン Philippines	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University
	サン・カルロス大学 University of San Carlos
ベトナム Viet Nam	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 VNU University of Social Sciences and Humanities
	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学 VNU University of Science
	ホアセン大学 Hoa Sen University
	トゥイロイ大学 Thuyloi University
マレーシア Malaysia	マレーシア国際イスラム大学 International Islamic University Malaysia
モンゴル Mongolia	モンゴル生命科学大学 Mongolian University of Life sciences
台湾 Taiwan	国立台北大学 National Taipei University
	文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages
	静宜大学 Providence University
オーストラリア Australia	クイーンズランド大学 University of Queensland
米国 U.S.A	ウィスコンシン大学オークレア校 University of Wisconsin Eau Claire
	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York
	コロラド州立大学 Colorado State University
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University
	オザークス大学 University of Ozarks
	ジョージア大学 University of Georgia
	セント・トーマス大学 University of St. Thomas
カナダ Canada	ルイジアナ州立大学 Louisiana State University
	ブリティッシュコロンビア大学 University of British Columbia
	マクマスター大学 McMaster University
ウクライナ Ukraine	ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine
	チェルニーヒウ国立工科大学 Chernihiv National University of Technology
	オデッサ国立環境大学 Odessa State Environmental University
英国 United Kingdom	スターリング大学 University of Stirling
	ウィンチェスター大学 University of Winchester
	グラスゴー大学 University of Glasgow
	ポーツマス大学 University of Portsmouth
	ノーサンブリア大学 Northumbria University
オランダ Netherlands	ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen
スウェーデン Sweden	リンネ大学 Linnaeus University
スペイン Spain	サラゴサ大学 University of Zaragoza
スロベニア Slovenia	リュブリャナ大学 University of Ljubljana
セルビア Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade
ドイツ Germany	ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum
	ハノーファー大学 Leibniz University Hannover
	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society
	ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences
ノルウェー Norway	ノルウェー生命科学大学 Norwegian University of Life Sciences
ハンガリー Hungary	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church
ベラルーシ Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest
ロシア Russia	極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University
トルコ Turkey	アンカラ大学 Ankara University
	中東工科大学 Middle East Technical University
	エーゲ大学 Ege University

学生交流協定締結校 Student Exchange Agreement Institutions

2025.5.1

国 / 地域 Nation / Region	大学名 University
韓国 Republic of Korea	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies
	ソウル市立大学校 University of Seoul
	中央大学校 Chung-Ang University
	培材大学校 Pai Chai University
中国 China	華東師範大学 East China Normal University
	河北大学 Hebei University
	重慶理工大學 Chongqing University of Technology
フィリピン Philippines	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University
ベトナム Viet Nam	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 VNU University of Social Sciences and Humanities
	トゥイロイ大学 Thuy loi University
マレーシア Malaysia	マレーシア国際イスラム大学 International Islamic University Malaysia
台湾 Taiwan	国立台北大学 National Taipei University
	文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages
	靜宜大学 Providence University
米国 U.S.A	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York
	コロラド州立大学 Colorado State University
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University
	オザークス大学 University of Ozarks
	セント・トーマス大学 University of St. Thomas
	ルイジアナ州立大学 Louisiana State University
カナダ Canada	マクマスター大学 McMaster University
英国 United Kingdom	ノーサンブリア大学 Northumbria University
	グラスゴー大学 University of Glasgow
	スターリング大学※ University of Stirling
	ウィンチェスター大学※ University of Winchester
オランダ Netherlands	ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen
スペイン Spain	サラゴサ大学 University of Zaragoza
スロベニア Slovenia	リュブリャナ大学 University of Ljubljana
セルビア Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade
ドイツ Germany	ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum
	ハノーファー大学 Leibniz University Hannover
	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society
	ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences
ハンガリー Hungary	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church
ベラルーシ Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest
ロシア Russia	極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University
トルコ Turkey	アンカラ大学 Ankara University
	中東工科大学 Middle East Technical University
	エーゲ大学 Ege University

※ スターリング大学、ウィンチェスター大学は、本学学生派遣に係る付帯協定を締結

学生交流協定における交換留学 Student Exchanges

2024.4.1-2025.3.31

派遣大学 Host Institution	人数 Number of Students
オザークス大学 University of Ozarks	4
ノーサンブリア大学 Northumbria University	2
サラゴサ大学 University of Zaragoza	2
セント・トーマス大学 University of St. Thomas	1
ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	1
カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	2
華東師範大学 East China Normal University	2
河北大学 Hebei University	1
韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	2
ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	1

受入大学 Home Institution	人数 Number of Students
河北大学 Hebei University	6
ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum	5
カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	3
文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	4
ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen	2
ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	1
ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences	2
ノーサンブリア大学 Northumbria University	1
ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	1
ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine	1



入学志願者及び入学者

NUMBER OF APPLICANTS AND ENROLLED STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES 2025.5.1

学群・学類 Cluster・Faculty	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences	2,460	745
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	820	300
行政政策学類(昼間) Faculty of Administration and Social Sciences (Daytime)	619	196
行政政策学類(夜間主) Faculty of Administration and Social Sciences (Evening)	18	16
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	1,003	233
理工学群 Cluster of Science and Technology	618	210
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	618	210
農学群 Cluster of Agricultural Sciences	385	114
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	385	114
合 計 Total	3,463	1,069

※ 編入学・学士入学は除く
※ 私費外国人留学生、マレーシア政府派遣留学生を含む

大学院(修士課程・博士前期課程・専門職学位課程) GRADUATE SCHOOL 2025.5.1

研究科 Graduate School	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted
地域デザイン科学研究科 Regional Design	72	44
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	60	54
食農科学研究科 Food and Agricultural Sciences	23	19
教職実践研究科(教職大学院) Professional Teacher Education	10	10
合 計 Total	165	127

※共生システム理工学研究科と食農科学研究科は10月期入学試験も実施。
表では令和7年度4月期入学のみ計上。
※令和6年度10月期入学
共生システム理工学研究科で入学志願者1名、入学者1名
食農科学研究科で入学志願者1名、入学者0名

大学院(博士後期課程) GRADUATE SCHOOL 2024.5.1

研究科 Graduate School	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	7	6
合 計 Total	7	6

※10月期入学試験も実施。
表では令和7年度4月期入学のみ計上。
※令和6年度10月期入学
入学志願者1名、入学者1名

学生の定員及び現員

NUMBER OF STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES 2025.5.1

学群・学類 Cluster・Faculty	区 分 Classification	入学定員 Annual Quota by Academic Capacity	収容定員 Standard Student Capacity	現 員 Present Number of Students					合 計 Total
				1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year		
人 文 社 会 学 群 Cluster of Human and Social Sciences		685 ^⑩	2,740 ^⑩	375 370	390 339	362 383	419 402	1,546 1,494	3,040
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		260 ^⑩	1,040 ^⑩	112 188	112 166	118 172	123 186	465 712	1,177
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		205 ^⑩	820 ^⑩	103 109	110 105	106 119	133 113	452 446	898
昼間 Daytime		185 ^⑩	740 ^⑩	93 103	96 98	97 106	118 104	404 411	815
夜間主 Evening		20	80	10 6	14 7	9 13	15 9	48 35	83
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		220 ^⑩	880 ^⑩	160 73	168 68	138 92	163 103	629 336	965
理 工 学 群 Cluster of Science and Technology		200	680	162 48	125 37	128 45	159 49	574 179	753
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		200	680	162 48	125 37	128 45	159 49	574 179	753
農 学 群 Cluster of Agricultural Sciences		100	400	57 57	51 54	53 61	55 49	216 221	437
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences		100	400	57 57	51 54	53 61	55 49	216 221	437
合 計 Total		985 ^⑩	3,820 ^⑩	594 475	566 430	543 489	633 500	2,336 1,894	4,230

※ 〇は3年次編入学生定員で外数 ※ 黒文字は男子、赤文字は女子

大学院(修士課程・博士課程・専門職学位課程) GRADUATE SCHOOL

2025.5.1

研究科名 Graduate School	専攻名 Majors	課程名 Course	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現員 Present Number of Students
地域デザイン科学研究科 Regional Design	人間文化専攻 Human Culture and Science	修士課程 Master	20	40	17 29
	地域政策科学専攻 Public Policy and Regional Administration	修士課程 Master	8	16	4 5
	経済経営専攻 Economics and Business Administration	修士課程 Master	14	28	21 3
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	共生システム理工学専攻 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master	40	80	90 15
		博士後期課程 Doctor	4	12	12 3
	環境放射能学専攻 Environmental Radioactivity	博士前期課程 Master	5	10	8 0
		博士後期課程 Doctor	2	6	4 1
食農科学研究科 Food and Agricultural Sciences	食農科学専攻 Food and Agricultural Sciences	修士課程 Master	20	40	32 28
教職実践研究科 Professional Teacher Education	教職高度化専攻 Advanced Practice for Professional Teacher	専門職学位課程 Professional Degree	12	24	9 9
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional Administration	地域政策科学専攻 Public Policy and Regional Administration	修士課程 Master			3 2
経済学研究科 Economics	経営学専攻 Business Administration	修士課程 Master			2 1
合 計 Total			125	256	202 96

※ 黒文字は男子、赤文字は女子 ※ 令和5.4地域デザイン科学研究科、食農科学研究科、教職実践研究科開設(令和5.4学生受入)
※ 人間発達文化研究科、地域政策科学研究科、経済学研究科の学生受入は令和4年度まで

岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程) UNITED GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURAL SCIENCES,IWATE UNIVERSITY

2025.5.1

研究科	入学定員	現員
連合農学研究科 博士課程	28	6(1)

※ 現員は福島大学(指導教員)に属する学生数
※ 現員()は女子

附属学校の定員及び現員

OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

2025.5.1

区分 Classification 学校別 School		入学(園)定員 Applicant Capacity	総定員 Student Capacity	現 員 Present Number						合 計 Total	
				1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year		
附 属 幼 稚 園 Kindergarten		30	90	3才児 15	3 year olds 3	4才児 15	4 year olds 9	5才児 7	5 year olds 14	37 26	63
附 属 小 学 校 Elementary School		105	630	48 52	44 60	51 50	51 49	51 52	55 48	300 311	611
附 属 中 学 校 Junior High School		140	420	70 70	70 70	74 65				214 205	419
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School		17	60	10 1	8 6	10 7	2 1	2 1	2 0	34 16	50
小 学 部 1-6		3	18	3 0	1 2	2 1	2 1	2 1	2 0	12 5	17
中 学 部 7-9		6	18	4 0	2 2	3 3				9 5	14
高 等 部 10-12		8	24	3 1	5 2	5 3				13 6	19
合 計 Total		292	1,200							585 558	1,143

※ 附属特別支援学校小学部は、1・2年、3・4年、5・6年で各1学級 計3学級 ※ 黒文字は男子、赤文字は女子

卒業生数及び修了生数

NUMBER OF GRADUATES

学群・学類 UNDERGRADUATES

2025.5.1

区 分 Classification	課程及び学科 Course or Department	H20～ H30 2008～ 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	計 Total
学群・学類 Cluster・Faculty									
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences		8,848	791	834	786	713	702	667	13,341
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		3,155	293	297	291	273	264	250	4,823
行政政策学類(夜間主を含む) Faculty of Administration and Social Sciences		2,485	205	222	222	222	219	204	3,779
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		2,575	233	253	220	214	217	211	3,923
現代教養コース Course of Liberal Arts for Modern Society		633	60	62	53	4	2	2	816
理工学群 Cluster of Science and Technology		1898	188	175	190	151	152	156	2,910
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		1898	188	175	190	151	152	156	2,910
農学群 Cluster of Agricultural Sciences						103	91	103	297
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences						103	91	103	297
合 計 Total		10,746	979	1,009	976	967	945	926	16,548

※ 平成16.10全学再編により、教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組、理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17.4学生受入)、農学群食農学類を新設(平成31.4学生受入)

大 学 院 GRADUATE SCHOOL

2025.5.1

科・課程 Course	修了年度 Year	S52～ H29 1977～ 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	計 Total
教 職 実 践 研 究 科 Professional Teacher Education	専門職学位課程 (教職大学院) Professional Degree								15	15
地 域 デ ザ イ ン 科 学 研 究 科 Regional Design	修士課程 Master								26	26
	修士課程 Master				7	2				94
共 生 シ ス テ ム 理 工 学 研 究 科 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master	264	43	37	40	31	46	49	53	563
	博士後期課程 Doctor	18	4	2	3	4	3	2	2	38
食 農 科 学 研 究 科 Food and Agricultural Sciences	修士課程 Master								37	37
人 間 発 達 文 化 研 究 科 Human Development and Culture	専門職学位課程 (教職大学院) Professional Degree		16	15	11	12	12	8		74
	修士課程 Master	297	30	32	18	24	21	20	2	444
教 育 学 研 究 科 Education	修士課程 Master	719								719
地 域 政 策 科 学 研 究 科 Public Policy and Regional Administration	修士課程 Master	306	7	8	6	8	9	4	3	351
経 済 学 研 究 科 Economics	修士課程 Master	414	14	9	9	18	15	14	5	498
合 計 Total		2,103	114	103	94	99	106	97	143	2,859

※ 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がい無い為、廃止

学部 FACULTY

2025.5.1

学部 Faculty	区 分 Classification	課程及び学科 Course or Department	S25～H23 1950～2011 計 Total
教育学部 Faculty Education			21,264 ※1
	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course		9,338 ※2
	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course		5,222 ※2
	養護学校教員養成課程 Teachers Course for Mentally and Physically Handicapped Children		485 ※2
	幼稚園教員養成課程 Kindergarten Teachers Course		590 ※2
	生涯教育課程 Department of Lifelong Education		835 ※3
	学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training		1,337
	特別教科(理科)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Science Education)		601
	特別教科(保健体育)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Physical Education)		1,188
	その他 Others		7
2年課程 Two Year Courses	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course		1,004 ※4
	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course		657 ※4
行政社会学部 Faculty of Administration and Social Sciences			4,554 ※1
昼間主コース Daytime-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department		2,469
	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department		1,058
夜間主コース Evening-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department		620
	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department		407
経済学部 Faculty of Economics			15,353 ※1
昼間主コース Daytime-centered Courses	経済学科 Economics Department		6,211 ※5
	経営学科 Business Administration Department		4,197 ※5
	現代経済課程 Contemporary Economics Course		838
	企業経営課程 Business Management Course		1,206
	国際経済社会課程 International Economics and Society Course		599
	産業情報工学課程 Industrial Economics Engineering Course		151
夜間主コース Evening-centered Courses	経済学科 Economics Department		919 ※5
	経営学科 Business Administration Department		717 ※5
	現代経済課程 Contemporary Economics Course		205
	企業経営課程 Business Management Course		310
短大 Junior College			2,116 ※6
合 計 Total			43,287

- ※1 教育学部、行政社会学部、経済学部は平成17年度から学生募集停止
 ※2 小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程は平成11年度から学生募集停止
 ※3 生涯教育課程は平成7年4月設置
 ※4 2年課程は昭和33年度から学生募集停止
 ※5 経済学部経済学科、経営学科は平成8年度から学生募集停止
 ※6 短大は昭和55年3月廃止

専攻科 ONE-YEAR GRADUATE PROGRAM

専攻 Course	修了年度 Year	S31～H3 1956～1991 計 Total
教育専攻科 Education	保健体育専攻 Physical Education	30
	教育専攻 Pedagogy	8
	理科専攻 Science Education	19
経済学専攻科 Economics	経理経営専攻 Accounting and Management	24

卒業生就職状況(令和6年度)

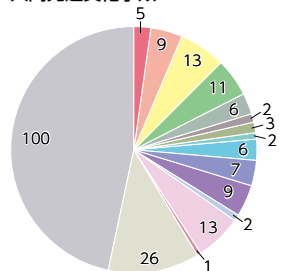
EMPLOYMENT AFTER GRADUATION

2025.5.1

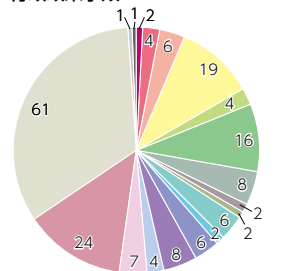
学類 Faculty	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	計 Sub Total	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	計 Sub Total	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	計 Sub Total	夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	計 Sub Total	行政政策学類 (夜間主) Faculty of Administration and Social Sciences	計 Sub Total	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	計 Sub Total	食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	計 Sub Total	合 計 Total
卒業生 Total Graduates	95 155	250	88 104	192	129 82	211	2	2	5 7	12	131 25	156	47 56	103	495 431
就職者 Total Employed	77 138	215	83 100	183	112 74	186	0	0	3 6	9	78 20	98	39 42	81	772 380
業種別 職種内訳															
農, 林, 漁, 鉱業 Agriculture, Forestry, Fishing, Mining	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	5
建設業 Construction	2 3	5	2 2	4	2 3	5	0	0	0	0	9	9	1 9	1	15 9
製造業 Manufacturing	4 5	9	3 3	6	8 5	13	0	0	0	0	16 4	20	7 8	15	38 25
電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, Gas, Heat Supply and Water	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	3 2	5	0	0	6 2
情報通信業 Information and Communications	8 5	13	6 13	19	14 16	30	0	0	1 1	1	21 3	24	6 4	10	55 42
運輸業, 郵便業 Transport and Postal Activities	0	0	4	4	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	2 6
卸売業, 小売業 Wholesale and Retail Trade	5 6	11	9 7	16	12 4	16	0	0	0	0	1	1	3 8	11	30 25
金融業 Finance	1 5	6	5 3	8	14 5	19	0	0	1	1	1	1	1	1	21 15
保険業 Insurance	2	2	2	2	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	8 5
不動産業, 物品賃貸業 Real Estate and Goods Rental and Leasing	3	3	1	2	1	5	0	0	0	0	1	1	1	1	7 5
学術研究, 専門・技術サービス業 Scientific research, professional and technical services	2	2	3	6	9	16	0	0	1	1	7 1	8	1 2	3	20 16
宿泊業, 飲食サービス業 Accommodations, Eating and Drinking Services	2 4	6	2 2	2	1 1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2 7
教育, 学習支援業 Education, Learning Support	1 6	7	4 2	6	3 7	3	0	0	1	1	2	2	2	2	7 15
医療, 福祉 Medical, Health Care and Welfare	1 8	9	8 8	8	1 3	4	0	0	1	1	0	0	0	0	2 19
複合サービス業 Compound Services	1	2	2	4	1	2	0	0	0	0	1	1	2 1	3	6 6
サービス業 Service Industry	5 8	13	3 4	7	9 3	12	0	0	0	0	2 2	4	1	1	20 17
国家公務員 National Government Services	1	1	11 13	24	10 5	15	0	0	0	0	1	1	1 3	4	23 22
地方公務員 Local Government Services	6 20	26	29 32	61	20 9	29	0	0	2 1	3	14 2	16	13 10	23	84 75
教員 Teaching	39 61	100	1	1	1 1	2	0	0	0	0	2 2	4	1 1	1	43 64
自営業 Self-Employment	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1 2
未定 Undetermined	3 2	5	1 1	2	4 2	6	0	0	1	1	1 1	2	0	0	10 6
進学 Furthering Studies	9 12	21	3 1	4	10 2	12	0	0	0	0	48 3	51	8 14	22	78 32
進学準備 Preparation for further study	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
有職 Already Employed	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1 2
公務員等希望者 Preparing for Civil Exams	1 1	2	1 1	2	1 4	5	0	0	0	0	1	1	0	0	3 7
その他 Others	4 2	6	1	1	2	2	1	1	0	0	4	4	0	0	10 4
就職率(%) Total Employment Rate 就職者÷就職希望者(就職者+未定)	96.3% 98.6%	97.7%	98.8% 99.0%	98.9%	96.6% 97.4%	96.9%	—	—	75.0% 100.0%	90.0%	98.7% 95.2%	98.0%	100.0% 100.0%	100.0%	97.5% 98.4%

※ 上段(黒)は男子, 下段(赤)は女子

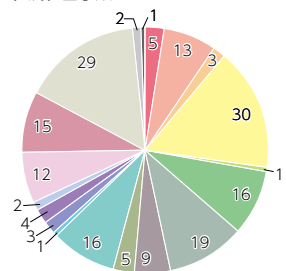
人間発達文化学類



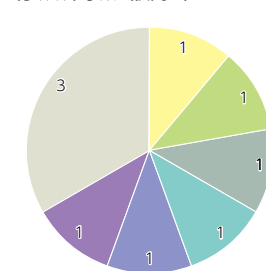
行政政策学類



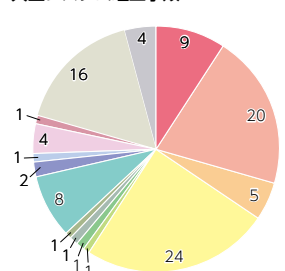
経済経営学類



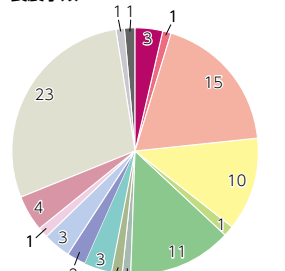
行政政策学類(夜間主)



共生システム理工学類



食農学類



- 農, 林, 漁, 鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業, 郵便業
- 卸売業, 小売業
- 金融業
- 保険業
- 不動産業, 物品賃貸業
- 学術研究, 専門・技術サービス業
- 宿泊業, 飲食サービス業
- 教育, 学習支援業
- 医療, 福祉
- 複合サービス事業
- サービス業
- 国家公務員
- 地方公務員
- 教員
- 自営業

外国人留学生数

NUMBER OF INTERNATIONAL STUDENTS

留学生数部局別内訳 FACULTIES

2025.5.1

区分 Classification	学 類 Undergraduate School		大 学 院 Graduate School		計 Total
	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	
学類・研究科 Faculty・Graduate School					
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture 地域デザイン科学研究科(人間文化専攻) Graduate School of Regional Design Major in Human Culture and Science	10 (9)	0	3	0	13 (9)
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences 地域デザイン科学研究科(地域政策科学専攻) Graduate School of Regional Design Major in Public Policy and Regional Administration	4 (1)	0	1	0	5 (1)
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration 地域デザイン科学研究科(経済経営専攻) Graduate School of Regional Design Major in Economics and Business Administration	20 (1) (3)	5	6	1	32 (1) (3)
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science 共生システム理工学研究科 Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology	9 (1)	0	(博士前期) 10 (2) (博士後期) 6 (5)	0	25 (7) (1)
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences 食農科学研究科 Graduate School of Food and Agricultural Sciences	2	1	0	0	3
計 Total	45 (1) (14)	6	26 (7)	1	78 (8) (14)

※教職実践研究科(教職大学院)は在籍留学生なし

国別留学生数 NATIONALITIES

2025.5.1

区分 Classification	学 類 Undergraduate School		大 学 院 Graduate School		計 Total
	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	
国籍／地域 Nation/region					
インドネシア Indonesia	1	0	0	0	1
タイ Thailand	0	0	1	0	1
韓国 Republic of Korea	2	0	0	0	2
中国 China	10	2	16	1	29
パキスタン Pakistan	0	0	2 (2)	0	2 (2)
バングラデシュ Bangladesh	0	0	3 (3)	0	3 (3)
ベトナム Viet Nam	14	0	1	0	15
マレーシア Malaysia	16 (14)	0	0	0	16 (14)
モンゴル Mongolia	1 (1)	0	0	0	1 (1)
台湾 Taiwan	1	2	0	0	3
ブラジル Brazil	0	0	1 (1)	0	1 (1)
ウクライナ Ukraine	0	0	1	0	1
ドイツ Germany	0	1	0	0	1
ベラルーシ Belarus	0	1	0	0	1
セネガル Senegal	0	0	1 (1)	0	1 (1)
計 Total	45 (1) (14)	6	26 (7)	1	78 (8) (14)

※ 赤文字() は国費留学生で内数 ※ 青文字() は外国政府派遣留学生で内数 ※ 留学生数は在留資格が「留学」の者を計上

奨 学 生

SCHOLARSHIP STUDENTS

2025.5.1

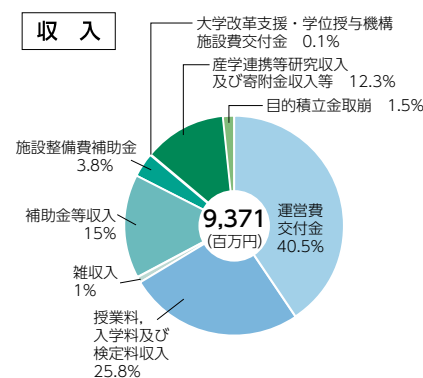
区 分 Classification		対象学生数 Number of Eligible Applicants	日本学生支援機構奨学生 Japan Student Services Organization					その他の 奨学生 Other Scholarship
			給付奨学金 Grant-type scholarship	貸与奨学金 Loan-based scholarship		計 Total	比率(%) Ratio	
				第1種 Loan 1	第2種 Loan 2			
学類・大学院 Faculty・Graduate School								
人文社会科学群 Faculty of Human Development and Culture	839	101	173	149	423	50.4%	12	
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	655	74	151	96	321	49.0%	7	
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	693	86	160	120	366	52.8%	8	
理工学群 Faculty of Symbiotic Systems Science	504	45	112	76	233	46.2%	3	
農学群 Faculty of Food and Agricultural Sciences	314	31	57	42	130	41.4%	5	
大学院 Graduate School	136	0	40	2	42	30.9%	7	
合 計 Total		3,141	337	693	485	1,515	48.2%	42

※ 基準日現在、1年生は未決定のため除く。

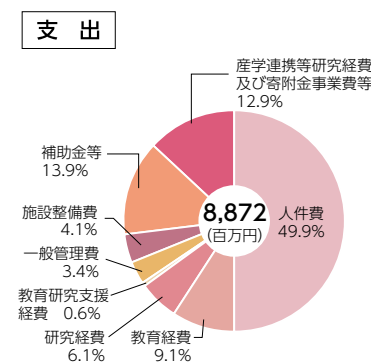
収入・支出決算額(令和6年度) ※金額は表示単位未満切捨てのため、必ずしも合計は一致しない。

CLOSING ACCOUNTS : REVENUE AND EXPENDITURE 2024

収入 REVENUE	(百万円)	
区分 Division of Revenue	[令和6年度] Amount [2024]	[令和5年度] Amount [2023]
運営費交付金 Total Grant for Management Expense	3,794	3,662
授業料、入学料及び検定料収入 Tuition and Examination Fees	2,422	2,430
財産処分収入 Income earned through Disposition of Property	—	—
雑収入 Miscellaneous Income	90	93
補助金等収入 Subsidy Income	1,411	477
施設整備費補助金 Subsidies for Maintenance of University Facilities	353	607
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 Grant-in-Aid from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	10	7
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 Income from Industry-University Cooperative Research and Donations	1,148	765
引当金取崩 Reserve Fund Reversal	—	—
目的積立金取崩 Purpose Reserve Fund Reversal	140	122
合計 Total	9,371	8,166



支出 EXPENDITURE	(百万円)	
区分 Division of Expenditure	[令和6年度] Amount [2024]	[令和5年度] Amount [2023]
人件費 Personal Expenses	4,427	4,333
教育経費 Education Expenses	811	742
研究経費 Research Expenses	538	496
教育研究支援経費 Expenses for Supporting Education and Research	54	70
一般管理費 Administrative Expenses	299	308
施設整備費 Supplies and Equipment Cost	363	614
補助金等 Subsidy	1,232	277
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 Budget for Industry-University Cooperative Research and Funding	1,146	687
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 Payment to the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	—	—
合計 Total	8,872	7,530

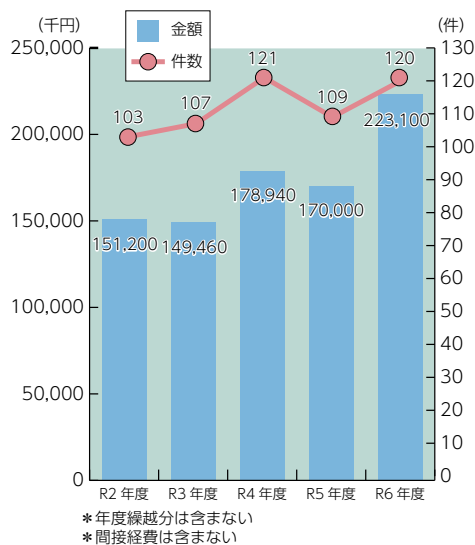


科学研究費助成事業

GRANTS-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH

令和6年度 Fiscal Year 2024

研究種目 Research Category	件数 Number	直接経費(千円) Direct Expenses (in thousand yen)	間接経費(千円) Indirect Expenses (in thousand yen)
学術変革領域研究(A) Grant-in-Aid for Transformative Research Areas(A)	1	36,500	10,950
学術変革領域研究(A)(公募研究) Grant-in-Aid for Transformative Research Areas(A)(Publicly Offered Research)	1	1,900	570
基盤研究(S) Scientific Research (S)	0	0	0
基盤研究(A) Scientific Research (A)	6	44,500	13,350
基盤研究(B) Scientific Research (B)	16	47,700	14,310
基盤研究(C) Scientific Research (C)	74	72,300	21,690
挑戦的研究(開拓) Challenging Research Pioneering	1	4,600	1,380
挑戦的研究(萌芽) Challenging Research Exploratory	1	1,400	420
若手研究 Early-Career Scientists	11	8,100	2,430
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	3	2,500	750
研究成果公開促進費(学術図書) Publication of Scientific Research Results (Scientific Literature)	0	0	0
研究成果公開促進費(データベース) Publication of Scientific Research Results (Databases)	0	0	0
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	5	3,600	360
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化) Fund for the Promotion of Joint International Research (Fostering Joint International Research)	1	0	0
合 計 Total	120	223,100	66,210

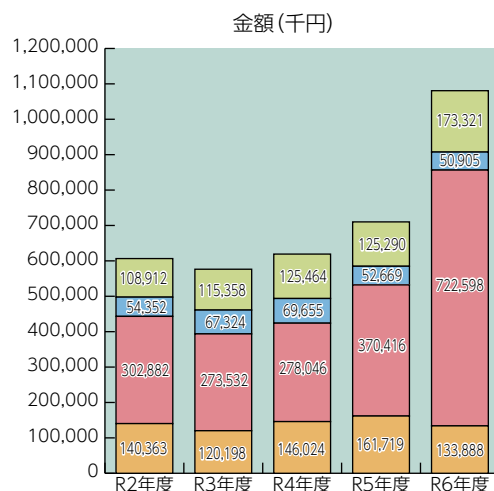
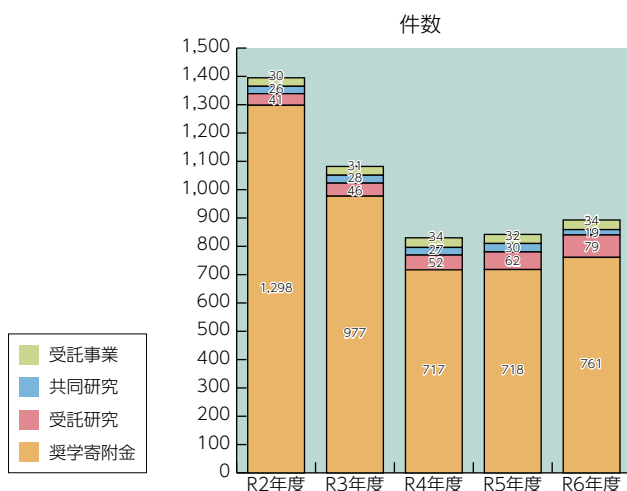


外部資金

FUNDS FROM OTHER SOURCES

令和6年度 Fiscal Year 2024

研究種目 Subject for Research	件数 Number	金額(千円) Amount
奨学寄附金 Grants and Endowments	761	133,888
受託研究 Contract Research	79	722,598
共同研究 Cooperative Research	19	50,905
受託事業 Trustee Business	34	173,321
合 計 Total	893	1,080,712



学内施設等

CAMPUS FACILITIES

フクニチャージ図書館(附属図書館) FUKUNICHARGE LIBRARY (UNIVERSITY LIBRARY)

蔵書数 BOOKS AND PERIODICALS

2025.3.31

和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total	雑誌 Periodicals		
			和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total
741,770	238,402	980,172	10,956	2,732	13,688

令和6年度利用状況 UTILIZATION

区分 Division	人数 Persons		冊数 Volumes	
	年間 per year	一日平均 per day	年間 per year	一日平均 per day
館外貸出 Loan	11,253	36.7	22,803	74.3
学類学生 Undergraduates	8,719	28.4	16,743	54.5
大学院学生 Graduate Students	1,030	3.4	2,291	7.5
教職員 Faculty and Staff	1,298	4.2	3,086	10.1
学外者 External Users	206	0.7	683	2.2
入館者数 Number of Visitors	188,242	613		

開館日数 307日 Open 307 days
(内土曜日42日) Saturday 42 days
(内日曜日33日) Sunday and holiday 33 days



フクニチャージ図書館(附属図書館)
FUKUNICHARGE LIBRARY (University Library)

☆福島大学は、福島日産自動車株式会社とネーミング・パートナー契約を締結し、附属図書館の愛称を「フクニチャージ図書館」としている。



フクニチリーディングルーム(開架閲覧室)
FUKUNICHI Reading Room



アリアcommons(ラーニングcommons)
ARIYA Commons (Learning Commons)

文庫 Book collections

●大塚久雄文庫

The Hisao Otsuka Collection

故大塚久雄先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数、合わせて図書6,058冊、雑誌約212タイトル、抜刷約1,682点、その他、ノート、原稿、講演テープ、色紙、写真、住所録等個人資料一山。

●今野源八郎旧蔵書

The Genpachiro Konno Collection

故今野源八郎先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数、和洋合わせて図書4,455冊、雑誌294タイトル、資料13,553点、その他、パンフレット、リーフレット、地図、抜刷、コピーなど一山。

●その他

吉原文庫、藤本文庫、藤田文庫、栗原文庫、二宮文庫、大森文庫、川村重和教授旧蔵書、松井秀親教授旧蔵書、三宅皓士教授旧蔵書、岡本友孝教授旧蔵書、佐藤恒久教授旧蔵書、珠玖拓治教授旧蔵書、下平尾勲名誉教授旧蔵書等。

大型コレクション Large collection

●19～20世紀ロシア・ソビエト研究稀観資料集 19th～20th century Russian and Soviet rare materials collection

●ロシア帝国・ソビエト連邦法令集 Collection of laws and ordinances of the Russian Empire and Soviet Union

●帝政ロシア及び現代ソビエト社会・経済研究 第1部、同第2部 Imperial Russian government and contemporary Soviet society: Economic research part 1 and 2

●体育教育の歴史 A collection of rare books in the history of physical education

EDUCATION FOR HEALTH & PUBLIC WELFARE; from the "survival of the fittest" to "fitting the many to survive"

震災関連資料コーナー

Earthquake disaster related materials corner

東日本大震災の関連資料をはじめ、震災を原発・ボランティア・郷土・教育・科学・防災・産業など多様な観点から扱った資料を配置。図書・雑誌・視聴覚資料など2025(令和7)年5月現在9,900点。

情報基盤センター Information Technology Center



情報基盤センターは、1969(昭和44)年に学内共同利用施設「計算センター」としてスタートした。その後、1987(昭和62)年に学術研究・情報教育の高度化・多様化、社会における一層の情報化進展に対応するために、「情報処理センター」に改組、さらに2003(平成15)年には教育研究・地域連携のための情報発信など多様な役割を担うべく省令施設に格上げされ、「総合情報処理センター」となった。2022(令和4)年には、遠隔授業実施やBYOD導入等、ICT環境の大幅な変化に伴い、センターに求められる役割、業務が大きく変革し、従来に増して学内の情報基盤や情報セキュリティ対策の整備運用を行うことから、「情報基盤センター」に名称を変更し、さらなる機能強化を図っている。

本センターは、「キャンパスネットワーク(FAINS: フェインズ)の運用・管理」、「本学の認証基盤となる全学認証システムの運用・管理」、「情報システムの利用についての技術指導」の他、全学的な情報セキュリティに関する業務を行っている。

地域未来デザインセンター Community Future Design Center



福島大学では、「地域創造支援センター」と「うつくしまふくしま未来支援センター（以下、両センター）」を発展的に統合し、2022（令和4）年4月に新たに「地域未来デザインセンター（以下、「デザインセンター」）」を設置した。

デザインセンターでは、両センターの事業を継承するとともに、地域課題解決に向けた研究及び社会貢献を一層進めるために、地域・企業・自治体などと連携し様々なプロジェクトを起こしながらそれらを社会に提案し、地域創生に寄与することを目的としている。

さらに、学生含め学内外の人々が語り合い・アイデアを出し合う場と機会を創出するイノベーションコモンズを整えながら、福島の未来をつくるイノベーション人材を育てることも目的としている。

環境放射能研究所（IER） Institute of Environmental Radioactivity



環境放射能研究所は、福島第一原発事故後の放射性核種の挙動を調査・解析する目的で2013年に設立された。国内外の大学・研究機関と連携し、大気、森林、河川湖沼、海洋など広範囲な研究分野をカバーしている。研究の成果は、放射線防護や効果的な除染方法の策定、住民の帰還や農林水産業をはじめとする産業の復興など、より具体的な復興活動の基礎となるほか、国際的な知見の共有も求められる。

2019年度に文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に認定され、国内外の研究者と共同研究を展開している。また2023年度からは福島国際研究教育機構（F-REI）の事業に参画し、原子力災害に関するデータや知見を集積・発信している。

教育では2019年度に環境放射能学専攻修士課程を開設し、2021年度からは博士前期・後期課程の大学院教育を担っている。

今後も国内外への発信力の強化、次世代の環境放射能分野の課題を担う人材の育成を行っていく。

人間発達文化学類附属学校臨床支援センター School Clinical Support Center

2023年度4月より学校連携部門が廃止され、教育相談部門と現職研修部門の2部門の人間発達文化学類附属センターとしてスタートした。

教育相談部門は、教育臨床研修講座などを中心に、心理職・教員等の支援技術向上を支援するとともに、臨床心理・教育相談室を併設して子ども・大人の心の悩みについての相談を有料で行っている。また大学院、地域デザイン科学研究科人間文化専攻人間発達心理コース臨床心理領域の大学院生の教育にも協力している。現職研修部門は年2～3回、もしくは通年で開催している教職員研修講座の実施を中心に、福島県教育庁、市町村教育委員会、各学校の研修支援、先生方の授業づくり支援等を行なっている。また、教職実践研究科の院生の教育にも携わっている。2部門ともに、附属学校園を含む学校の教育・研究支援を行っている。また、特別教室と授業分析室の施設があり、広く活用されている。



共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所 Hydrogen Energy Research Institute



水素エネルギー総合研究所は、2024年4月に共生システム理工学類附属研究所として設置された。

本研究所では、福島県の重点課題の一つである水素・再生可能エネルギーに関する教育研究を推進するため、水素を中心とした再生可能エネルギーの製造、貯蔵・輸送、利用、管理という一連のエネルギー循環を強く意識した研究を行う。

今後は、これまでに本学が協定を締結した連携先と協力して教育研究体制を構築しながら、水素エネルギーを中核に据えた地方創生に取り組むため、地域の産学官が連携して魅力的な水素関連産業を創出するとともに、地域産業を担う専門人材を育成するための拠点となることを目指す。

食農学類附属発酵醸造研究所 Institute of Fermentation Sciences

発酵醸造研究所は、2021(令和3)年4月に食農学類附属研究所として設置された。研究所にはフードチェーンに沿って「①素材生産・環境部門、②発酵醸造食品部門、③食健康・社会実装部門」、また部門横断的な位置付けで大容量の情報・データを扱う「④データ科学部門」が配置されている。発酵醸造の総合的・学際的な研究プロジェクトを推進するため、4研究部門を統括する「研究統括部門」を配置し、研究所の管理・運営を行っている。

発酵醸造素材作物の生産から発酵微生物、発酵醸造食品とその機能までを包含する総合的な基盤研究を展開している。

また、地域の農林水産業、食品関連産業に関連する課題解決型研究(ローカル)プロジェクトを産官学連携による橋渡し研究として推進する。さらにこれらの成果を国際的な課題、地球規模の課題の解決にも繋げる学際的な先端(グローバル)研究として発展させることを目指している。



教育推進機構 Organization for the Promotion of Education

教育推進機構は、福島大学の教育理念と目標に基づき、本学の学士課程教育及び大学院課程教育の改善・充実を図るとともに学生の確保、国際交流、学生支援及び就職支援に関する調査・研究、企画立案及び実施を全学的に行うことを目的として、2019(平成31)年4月に設置した。本機構には、保健管理センター、国際交流センター、アドミッションセンター、教職課程センター、キャリアセンターを置いている。

保健管理センター Healthcare Center

1981(昭和56)年4月に設置され、1982(昭和57)年3月に専用の建物が竣工。同年4月より本格的に業務が開始された。本センターには、医師・保健師・看護師が配置されており、学生及び教職員の健康の保持増進を図るために、保健管理に関する専門業務を行っている。具体的には、保健管理計画の企画及び立案、定期及び臨時の健康診断の実施と事後対応、精神的及び身体的健康相談、外傷・急病の応急処置、カウンセリングなどである。

また、月に一度、外部より、婦人科の医師(女性)が来所し、専門の相談に応じている。



国際交流センター International Center



国際交流センターは、①海外の大学等との学術交流及び学生交流の企画・推進、②留学生教育の企画・立案、③教育研究面での国際交流を図ることを目的として、2012年(平成24年)4月に設立された。

本センターでは、学生の派遣及び受入、短期留学プログラムの企画・立案及び留学生の修学上・生活上のサポートを行っている。留学生用宿舎である国際交流会館の管理運営も担当している。

センター内では、本学と学術・学生交流協定を締結している大学の情報や、留学の報告書なども閲覧することができる。

さらに、留学や語学学習に関する図書の貸出や、希望者には語学試験対策も提供している。留学に関わる生活や学習の相談、在留資格、地域のイベント案内、手続きなどもここで確認することができる。

アドミッションセンター Admission Center

アドミッションセンターは、アドミッションポリシーに応じた入学者選抜を実現するための具体的方策を企画・立案し、円滑な入学者選抜の実施を図ることを目的に、2016(平成28)年4月に設置された。

本センターは、高大接続改革の環境変化の下、本学が実施すべき選抜制度の実現にむけて、入学者選抜に係る調査研究、入学者選抜結果の分析及びその評価を行うとともに、新たな選抜制度を検討し、学類と連携協力して入学者選抜に係る企画・立案を行っている。併せて高大接続部門として、教育・研究による高校と大学の接続にむけて活動(進路講演、探究学習支援、高校教員との研究会等)している。



教職課程センター Center for Curriculum of Teacher Education

全学的観点から教職課程の運営および連絡調整にあたる組織として2022(令和4)年4月に教職課程センターが設置され、教職課程を有する5つの学類の連携や各種調整業務を行っている。

センターの主たる業務は①本学の教職課程の各段階において到達すべき基準「福島大学教職スタンダード」に基づく教職課程のカリキュラム・マップの策定、②教職履修学生の学習成果の記録と活用のための「教職履修カルテ」等のシステムの整備、③教職FD研修会の開催、④教職課程の自己点検・評価と結果公表などがある。

キャリアセンター Career Center

キャリアセンターは、大学における学生の多様なキャリア形成を図り、就職活動を支援することを目的として、2022(令和4)年4月に設置された。キャリア教育部門、キャリア支援部門、渉外部門の3つの部門を設け、学類・大学院の教員と連携し、就職先等の開拓、情報共有を行い、学生が自らライフプランを考え、納得して進路決定ができるよう、学生の成長をサポートすることを目指している。学生向けには、キャリア相談員による書類添削、模擬面接を含めた個別相談を行っており、その他にも、OB・OG紹介、就職に関する書籍の貸出、ガイダンス・セミナー・合同企業説明会を企画・実施している。

また、企業等からの求人・アルバイト受付の他、採用担当者との面談も行っており、採用担当者とともに本学学生を対象とした学内個別説明会を開催している。



アクセシビリティ支援室 Accessibility support room



アクセシビリティ支援室は、障がいのある学生の支援を行うことを目的として、2015(平成27)年4月に設置され、障がいや疾患のある学生が他の学生と同じように大学生活を送ることができるための修学上の支援(合理的配慮)を行っている。

学生や保護者からの相談、授業担当教員や関係部署間のコーディネート、学外の社会資源との連携のもと配慮を実施している。

また、PCノートテイク講座の開催や学習サポート、冬期間の除雪活動などの支援者となる学生サポーターの養成・派遣も実施しており、学生同士で助け合う相互支援の経験を通してお互いの協同する力をつけていくことを目指している。

学生総合相談室 Student Counseling Office

学生総合相談室は、修学、生活、健康等の学生が抱える学生生活に関する問題・悩みなどへの支援体制を一本化し迅速に解決することを目的として、1998(平成10)年7月に設置された。

学生が大学生活で出会う様々な悩みや相談に対して、専門のカウンセラー(臨床心理士)及び本学職員が対応している。学生の話聞きながら、気持ちを整理し自分を見つめ直すサポートをするとともに、必要に応じて学内の適切な部署への紹介も行なっている。

また、居場所作り支援として談話室を休憩や勉強できる場として開放することや、仲間づくりを目的としたイベントや講座等を実施し、困ったときに相談しやすい環境づくりに努めている。



「地域×データ」実践教育推進室 Center for Region x Data (Data-based Regional Studies)



令和5年4月、教育推進機構内に新設されました。地域の現場に根差しながら課題を実証的に発見・分析・解決する力を身につけ、地域におけるEBPM(Evidence Based Policy Making: 証拠に基づく政策立案)に精通した人材の育成をミッションとし、全学的な実践教育プログラムである「地域×データ」実践教育プログラムの開発・運営を行っています。福島大学の強みであるフィールドワークなど「地域実践教育」と、これからの時代の人材に求められる「データサイエンス実践演習」の高度な融合を目指します。

研究推進機構 Organization for the Promotion of Research

研究推進機構は、福島大学における教員の個人的及び集団的研究活動並びに地域社会との円滑な連携協力活動を支援するとともに、本学の知的財産の保護、育成、管理及び活用を効率的に推進することにより、本学の研究活動の活性化並びに社会貢献を積極的に果たしていくことを目的として、2005(平成17)年5月に設置された。研究活動推進、地域連携及び知的財産に係る学内組織と相互に連携し、その総合調整を図る。

学 生 寮 Dormitories



2025.5.1

寮 名 Name	如月寮 Kisaragi Dormitory	信夫寮 Shinobu Dormitory	葵 寮 Aoi Dormitory
構 造 ・ 面 積 Structure・Area	R 5 F 3,466㎡	R 4 F 2,701㎡	R 4 F 2,654㎡
収 容 対 象 Occupants	男子学生 Male	男子学生 Male	女子学生 Female
室 数 Bedrooms	200	150	150
収 容 可 能 人 員 Capacity	200	150	150
現 員 Present Occupancy	162	122	143

大 学 会 館 University Hall



大学会館
University Hall



大食堂 (Dining ReaF)
Large Cafeteria



大食堂 (Dining ReaF)
Large Cafeteria



Quick Lunchグリーン
Quick Lunch Green

2025.5.1

	施設名 Facilitie	面積 (㎡) Area	席・豊数 Capacity
1 階 (1F)	大 食 堂 (Dining ReaF) Large Cafeteria	1,046	700席
	売 店 Shop	294	
	Quick Lunchグ リ ー ン Quick Lunch Green	200	125席
	ロ ビ ー Lobby	98	
	大 集 会 室 Large Assembly Hall	270	250席
2 階 (2F)	小 集 会 室 Small Assembly Hall	35	32席
	//	46	32席
	和 室 Japanese Room	32	12畳
	学 生 総 合 相 談 室 Student Counseling Office	35	
	ア ク セ シ ビ リ テ ィ 支 援 室 Accessibility support room	35	
	カ ウ ン セ リ ン グ ル ーム Counseling room	18	
	//	18	
	学 生 総 合 相 談 室 分 室 Student General Consultation Room Branch Office	22	
	厨 房 ・ そ の 他 Kitchen and Others	1,035	

サテライト等

SATELLITE ETC.

街なかランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA



街なかランチ舟場は、2009(平成21)年10月1日、福島市舟場町の職員会館を改修し、教職員の福利厚生施設及び地域との連携を推進する拠点施設として設置され、以下の事業に使用されている。

●地域社会、地域住民の福祉・文化の向上を支援

- 地域の皆様を対象とした公開講座やセミナーなどを開講
- 地域の皆様からの臨床心理・教育相談に対応

●産官学連携事業

- 技術相談、共同研究、受託研究等
- セミナー、会議の開催

●本学教員の教育研究活動

- 講演会、研究会の開催
- ゼミ、フィールド調査時の拠点等



国際交流会館 International House

2025.5.1

名 称 Room	1室当り面積 (㎡) Area	部屋数 Number of Rooms
単 身 室 Studio	12	38
夫 婦 室 One-Bedroom	35	5
家 族 室 Two-Bedroom	52	2
多 目 的 ホール Multipurpose Hall	112	1
和 室 Japanese Room	24	1
ラ ン ド リールーム Laundry Room	14	2
談 話 室 Lounge	14	2
事 務 室 Office	19	1

※ 単身室は主に留学生用、夫婦室・家族室は研究者用



国際交流会館
International House



多目的ホール
Multipurpose Hall

福島大学東京連絡事務所(東京都渋谷区)

Fukushima University Tokyo Liaison Office (Shibuya Ward, Tokyo)

本学学生が首都圏での就職活動やゼミ活動の連絡場所として、また、入試広報等の活動拠点とする目的のため、福島大学信陵同窓会東京信陵会「信陵会館」内に2006(平成18)年4月1日に開設。

地域未来デザインセンター相双地域支援サテライト (富岡サテライト、浪江サテライト)

Soso Area Support Satellite (Tomioka Satellite, Namie Satellite)

地域未来デザインセンターは、東日本大震災及び原発事故に伴い避難を余儀なくされた福島の被災者と被災地域の復興・復興の支援に取り組んでおり、相双地域支援サテライトは、現地と大学を繋ぐ拠点として被災地域に密着した活動を行っている。



土地・建物面積

PROPERTIES

2025.5.1

部 局 等 Division	土地(m) Land	建物 (延m) Building	備 考 Location
事務局・学類・附属図書館 Head Office・Faculties・Library	432,894	94,921	金谷川 Kanayagawa
附 属 小 学 校 Elementary School	18,804	9,018	新浜町 Shinhama-cho
附 属 中 学 校 Junior High School	34,808	6,177	浜田町 Hamada-cho
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School	12,031	4,307	八木田 Yagita
附 属 幼 稚 園 Kindergarten	5,033	615	浜田町 Hamada-cho
国 際 交 流 会 館 International House	5,439	1,412	舟場町 Funaba-cho
街 な か ブ ラ ン チ 舟 場 Machinaka Branch FUNABA		402	
山 の 家 Mountain Lodge	5,843	419	高 湯 Takayu
如 春 荘 Joshunso	1,249	273	森 合 Moriai
艇 庫 Boathouse	997	342	木 幡 Kohata
農 場 Farm	19,187	0	松川町 Matsukawa-machi
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation	2,185	1,461	桜木町 Sakuragi-cho
野 田 住 宅 Noda Accommodation	8,769	4,675	野田町 Noda-machi
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation	1,753	1,338	松浪町 Matsunami-cho
そ の 他 Others	5,788	0	
計 Total	554,780	125,360	

金谷川団地屋外体育施設の現況 OUTDOOR SPORTS FACILITIES

名 称 Name	内 容 Area	
陸 上 競 技 場 Athletic Field	400mトラック(第4種公認)全天候	1面
バレーボールコート Volleyball Courts	(夜間照明)	5面
テニスコート Tennis Courts	(一部全天候・夜間照明)	10面
プー ル Swimming Pool	9コース 50m	1基
ハンドボールコート Handball Courts		1面
野 球 場 Baseball Field	両翼90m、中堅100m (夜間照明)	1面
サッカー・ラグビー場 Football Field	(夜間照明)	1面
ゴルフ練習場 Golf Field	9打席	1面
馬 場 Riding Ground		1面

金谷川団地建物の現況 CAMPUS FACILITIES

名 称 Name	構 造 Structure	延面積(m) Space
人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture	SR7F	5,979
行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences	SR8F	5,690
経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration	SR8F	6,710
共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science	SR7F	5,855
附属図書館 University Library	R3F・4F	10,638
保健管理センター Healthcare Center	R2F	441
情報基盤センター Information Technology Center	R3F	2,204
学校臨床支援センター/地域未来デザインセンター School Clinical Support Center/Community Future Design Center	R4F	1,995
食農学類管理棟 Administration Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences	R5F	2,530
食農学類研究棟 Research Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences	R5F	4,388
農機具置場 Farm Machinery Center	S1F	198
環境放射能研究所本棟 Institute of Environmental Radioactivity (Main Building)	SR6F	3,994
環境放射能研究所試料保存棟 Sample Storage Facility	S1F	583
環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory	S2F	1,360
事務局棟 Headquarters	R4F	2,440
学生活動センター Building for Student Council	S2F	229
S 講義棟 Lecture Halls-S	R4F	4,360
M 講義棟 Lecture Halls-M	R3F	2,755
L 講義棟 Lecture Halls-L	R1F	1,621
体育館 Gymnasium	RS1F・2F	2,652
第2体育館 2nd Gymnasium	RS2F	1,126
保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.	R2F	924
音楽棟 Music Bldg.	R3F	1,042
美術棟 Fine Arts Bldg.	R2F	1,267
共生システム理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory	S7F	6,857
理工共通棟 SSS Technical Laboratory	R1F	404
共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporters Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science	RC1F	334
プレハブユニット棟 Temporary Administration Building	S2F	121
宇宙線測定室 Cosmic Rays Observatory	S1F	43
大学会館 University Hall	R2F	3,184
文化系サークル棟 Building for Student Societies	R3F	885
体育系サークル棟 Varsity Building	R2F	710
合宿研修施設 Training House	R1F	174
弓道場(5人立) Archery Field	S1F	120
学生寮管理棟 Dormitory Administration Office	R1F	260
〃 如月寮 Kisaragi Dormitory	R5F	3,466
〃 信夫寮 Shinobu Dormitory	R4F	2,701
〃 葵寮 Aoi Dormitory	R4F	2,654
警務員室 Security Office	R1F	34
西門警務員室 Security Office	R1F	10
車庫 Garage	R1F	219
中央機械室 Power Supply Center	R2F	883
受水槽ポンプ室 Pump Room	R1F	130
中水処理施設 Sewage Disposal Plant	RS1F	116
その他 Others		635
計 Total		94,921

建物配置図

CAMPUS MAP

金谷川団地 KANAYAGAWA CAMPUS



- | | |
|--|--|
| ① 警務員室 Security Office | ③⑩ テニスコート Tennis Courts |
| ② 事務局棟 Headquarters | ③① ハンドボールコート Handball Courts |
| ③ 保健管理センター Healthcare Center | ③② 第2体育館 2nd Gymnasium |
| ④ 車庫 Garage | ③③ 学生寮管理棟 Dormitory Administration Office |
| ⑤ 経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration | ③④ 馬場 Riding Ground |
| ⑥ 行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences | ③⑤ サッカー・ラグビー場 Football Field |
| ⑦ 中央機械室・受水槽ポンプ室 Power Supply Center・Pump Room | ③⑥ 弓道場 Archery Field |
| ⑧ 情報基盤センター Information Technology Center | ③⑦ 野球場 Baseball Field |
| ⑨ 附属図書館 University Library | ③⑧ ゴルフ練習場 Golf Field |
| ⑩ S 講義棟 Lecture Halls-S | ③⑨ 陸上競技場 Athletic Field |
| ⑪ M 講義棟 Lecture Halls-M | ④① 西門警務員室 Security Office |
| ⑫ L 講義棟 Lecture Halls-L | ④② 共生システム理工学類後援募金記念棟
Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science |
| ⑬ 人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture | ④③ プレハブユニット棟 Temporary Administration Building |
| ⑭ 共生システム理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory | ④④ 食農学類管理棟
Administration Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences |
| ⑮ 共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science | ④⑤ 中水処理施設 Sewage Disposal Plant |
| ⑯ 学校臨床支援センター/地域未来デザインセンター
School Clinical Support Center/Community Future Design Center | ④⑥ 宇宙線測定室 Cosmic Rays Observatory |
| ⑰ 美術棟 Fine Arts Bldg. | ④⑦ 環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory |
| ⑱ 音楽棟 Music Bldg. | ④⑧ 環境放射能研究所本棟
Institute of Environmental Radioactivity (Main Building) |
| ⑲ 理工共通棟 SSS Technical Laboratory | ④⑨ 環境放射能研究所試料保存棟 Sample Storage Facility |
| ⑳ 保健体育棟 Health and Physical Education Bldg. | ④⑩ 食農学類研究棟
Research Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences |
| ㉑ プール Swimming Pool | ⑤① 農機具置場 Farm Machinery Center |
| ㉒ 体育館 Gymnasium | ⑤② 如月寮 Kisaragi Dormitory |
| ㉓ 大学会館 University Hall | ⑤③ 信夫寮 Shinobu Dormitory |
| ㉔ 信陵公園 Shinryou Park | ⑤④ 葵寮 Aoi Dormitory |
| ㉕ 野外ステージ Outdoor stage | ⑤⑤ 学生活動センター Building for Student Council |
| ㉖ 文化系サークル棟 Building for Student Societies | |
| ㉗ 合宿研修施設 Training House | |
| ㉘ 体育系サークル棟 Varsity Building | |
| ㉙ バレーボールコート Volleyball Courts | |



附属学校園 Off-Campus K-12 Schools

■附属小学校 Elementary School



- ① 小学校校舎(南校舎)
School Building(south school building)
- ② // (北校舎)
(north school building)
- ③ 小学校体育館
Gymnasium

■附属中学校 Junior High School



- ① 中学校校舎
Junior High School Building
- ② // 体育館
Gymnasium
- ③ 幼稚園園舎
Kindergarten
- ④ // 幼児教育センター
Early Childhood Education Center

■附属幼稚園 Kindergarten



■附属特別支援学校 Special Needs Education School



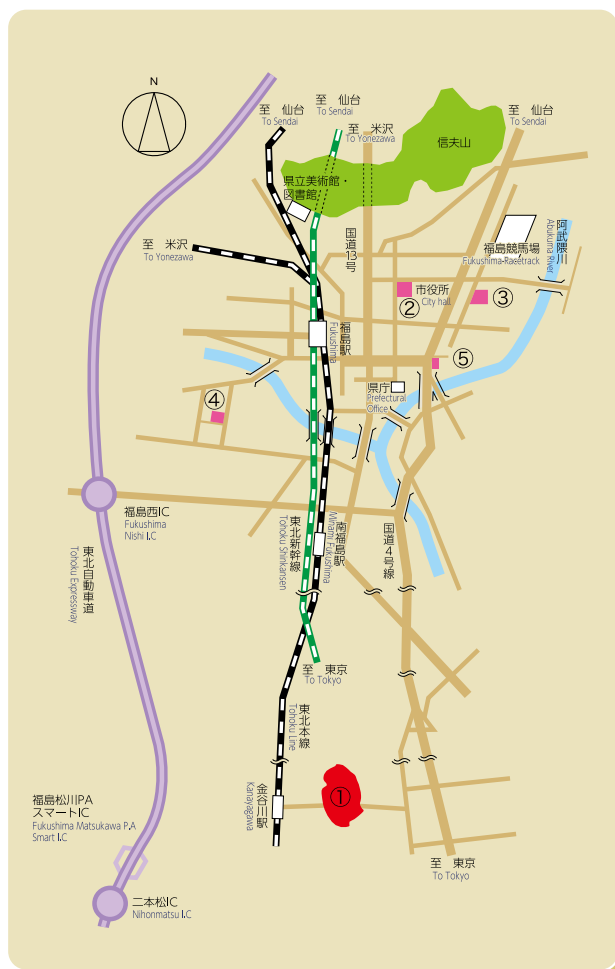
- ① 特別支援学校校舎(小学部)
School Building (1-6)
- ② // (中学部)
(7-9)
- ③ // (高等部)
(10-12)
- ④ // 体育館
Gymnasium
- ⑤ // 木工室
Woodworking Room
- ⑥ // 日常生活訓練施設
Training Facility

部局等の所在地案内図

LOCATION OF OFFICES

交通機関案内 TRANSPORTATION

- ① 福島大学 Fukushima University
JR東北本線「金谷川駅」下車徒歩10分
Take the Tohoku-Line from Fukushima Station to Kanayagawa Station, which takes about 10 minutes. Then about 10 minutes on foot.
- ② 附属小学校 Elementary School
福島交通福島駅東口バス発着所から市内循環1コース約10分、「附属小前」下車
Take the "Round 1" course bus at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fuzokusho". (It takes 10 minutes)
- ③ 附属中学校 Junior High School
附属幼稚園 Kindergarten
福島交通福島駅東口バス発着所から伊達・藤田・保原方面行乗車、約8分、「東高校前」下車徒歩5分
Take the bus for "Date・Fujita・Hobara" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Higashiko". It takes about 8 minutes, then 5 minutes on foot.
- ④ 附属特別支援学校
Special Needs Education School
福島交通福島駅東口バス発着所から荒井・土湯方面行乗車約15分、「福島ふそう前」下車徒歩5分
Take the bus for "Arai・Tsuchiyu" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fukushima-Fuso". It takes 15 minutes, then 5 minutes on foot.
- ⑤ 国際交流会館
International House
福島大学サテライト「街なかランチ舟場」
Fukushima University Satellite [Machinaka Branch FUNABA]



部局等の所在地案内図



部局等の所在地及び電話番号

CONTACT ADDRESSES

2025.5.1

部 局 等 Division		電 話 番 号 Telephone	所 在 地 Address
人 文 社 会 学 群	人 間 発 達 文 化 学 類 Faculty of Human Development and Culture	024-548-8103	〒960-1296 福島市金谷川1番地
	附 属 学 校 臨 床 支 援 セ ン タ ー School Clinical Support Center		
	行 政 政 策 学 類 Faculty of Administration and Social Sciences	024-548-8253	
	経 済 経 営 学 類 Faculty of Economics and Business Administration	024-548-8353	
理 工 学 群	共 生 シ ス テ ム 理 工 学 類 Faculty of Symbiotic Systems Science	024-548-5213	〒960-1296 福島市金谷川1番地
	附 属 水 素 エ ネ ル ギ ー 総 合 研 究 所 Hydrogen Energy Research Institute		
農 学 群	食 農 学 類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	024-548-8212	〒960-1296 福島市金谷川1番地
	附 属 発 酵 醸 造 研 究 所 Institute of Fermentation Sciences		
附 属 図 書 館 University Library		024-548-8083	〒960-1293 福島市金谷川1番地
保 健 管 理 セ ン タ ー Healthcare Center		024-548-8068	〒960-1296 福島市金谷川1番地
国 際 交 流 セ ン タ ー International Center		024-503-3066	
ア ド ミ ッ シ ョ ン セ ン タ ー Admission Center		024-548-8052	
キ ャ リ ア セ ン タ ー Career Center		024-548-8108	
情 報 基 盤 セ ン タ ー Information Technology Center		024-548-8018	
地 域 未 来 デ ザ イ ン セ ン タ ー Community Future Design Center		024-548-8012	
環 境 放 射 能 研 究 所 Institute of Environmental Radioactivity		024-504-2114	
事 務 局 Administration Bureau		学 長 室 024-548-5224 学 監 室 024-548-5193 総 務 課 024-548-8006 人 事 課 024-548-8007 会 計 課 024-548-8016 施 設 課 024-548-8021 教 務 課 024-548-8053 学 生 支 援 課 024-548-8061 入 試 課 024-548-8064 研 究 振 興 課 024-548-8009 社 会 共 創 課 024-548-8012 学 術 情 報 課 024-548-8083	
如 Kisaragi Dormitory	月	寮	〒960-1248 福島市金谷川5番地
信 Shinobu Dormitory	夫	寮	
葵 Aoi Dormitory		寮	
※平成12年地名変更 金谷川←松川町浅川字直道			
附 属 幼 稚 園 Kindergarten		024-534-7962	〒960-8107 福島市浜田町12番39号
附 属 小 学 校 Elementary School		024-534-6441	〒960-8022 福島市新浜町4番6号
附 属 中 学 校 Junior High School		024-534-6442	〒960-8107 福島市浜田町12番26号
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School		024-546-0535	〒960-8164 福島市八木田字並柳71番地
国 際 交 流 会 館 International House		024-521-2428	〒960-8103 福島市舟場町4番30号
街 な か プ ラ ン チ 舟 場 Machinaka Branch FUNABA			
如 Joshunso	春	荘	〒960-8003 福島市森合字台13番地9号
艇 Boathouse		庫	〒964-0203 二本松市木幡字西和代191番地9号
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation			〒960-8133 福島市桜木町8番1号
野 田 住 宅 Noda Accommodation			〒960-8055 福島市野田町五丁目7番
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation			〒960-8114 福島市松浪町1番29号

基金の概要

福島大学の基金は、「一般基金」と「特定基金」の2種類で構成されています。一般基金は本学の全体的な事業を支援し、特定基金は使途を予め特定した上でご寄附いただくものです。寄附者の皆様のご意向に沿って大切に活用させていただきます。

一般基金

大学全体の活動を広く支援する基金です。以下の支援事業に活用させていただきます。

1. 大学の発展・充実に資する事業
2. 研究推進事業
3. 教育・学生支援事業
 - (1). 学生支援事業
 - (2). 国際交流事業
 - (3). 学生教育環境整備事業
 - (4)-ア. その他事業(課外活動への支援)
 - (4)-イ. その他事業(就職活動への支援) ※企業・団体のみ(一口10万円から)
 - ・Aコース 福島大学応援パネル
 - ・Bコース 合同企業説明会等への優先参加
 - ・Cコース デジタルサイネージ

特定基金

寄附者様に使途を特定いただき、その事業を支援する基金です。

福島大学しのぶ育英奨学金基金
福島大学農学支援基金
福島大学経済経営学類創立100周年記念教育支援基金

- マレーシア国際イスラーム大学の訪問
(福島大学基金・国際交流事業で支援)



- ホームページにて奨学金を受け取った学生の感謝の言葉を公開しております(しのぶ育英奨学金基金で支援)



QRコードより
全文をご覧に
なれます！



冠基金

一定額以上のご寄附をいただける場合は、寄附者様の御芳名や会社名、想いなどを基金の名前として冠する「冠基金」を作ることができます。**冠基金をご希望される場合は、基金事務局までお知らせください。**

令和7年7月現在までの冠基金一覧

・本庄照子基金 ・ネットワンシステムズ奨学金基金 ・福大経済 恒久基金

ご協力をお願いする金額

法人・団体様 (一口 1万円)

個人様 (一口 5千円)

ご寄附の方法

- 郵便振替
- 銀行振込
- クレジットカード決済
- コンビニ決済

詳しくは福島大学の基金のホームページ(下記のQRコード)をご参照ください





- 全体の形は、福島大学の頭文字「F」を表しています。
- 縦長の長方形は、大地（地域）にしっかりと根を下ろしている様を、上の二枚の葉は、伝統に根ざし発展する「人文社会学群」と新たに創設された「理工学群」及び「農学群」を表しています。
- 下の葉は学生の新しい芽吹きを想起させる「若草色」上の葉は変化と調和を感じさせる「青のグラデーション」
- その躍動感あふれるフォルムには、軽やかで爽やかな風が吹き抜けるキャンパスで21世紀的課題に果敢に挑戦する人材を育成したいという願いが託されています。



福島大学公式マスコットキャラクターめばえちゃん

【令和7年7月 発行】

**福島大学総務課
広報・渉外室**

〒960-1296 福島市金谷川1番地

TEL 024-548-5190

<https://www.fukushima-u.ac.jp/>